

2022 年度(令和4年度)

第4回福山市市政モニターアンケート調査報告書

(福山市市政モニター業務報告書)

【2023 年(令和5年)2月実施】

2023 年(令和5年)3月

福 山 市

【目次】

1. 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
3. 調査結果	
(1) 環境美化条例について.....	4
(2) ボランティア活動について.....	20
(3) 備後圏域連携中枢都市圏構想について.....	46
(4) 回答者の属性.....	62
資料編 2022年度(令和4年度) 第4回 市政モニターアンケート調査票	65

1. 調査の目的

幅広い世代の様々な立場の市民等から意見を聴き、政策や市政運営に繋げることで、市民に身近な市政を実現するため。

2. 調査の仕様

(1) 調査項目

- 環境美化条例について
- ボランティア活動について
- 備後圏域連携中枢都市圏構想について

(2) 調査対象

16歳以上の福山市民又は市外在住で福山市政に関心のある方で福山市市政モニターに登録された745人

(3) 調査方法

インターネット（福山市電子申請サービス）及び郵送により実施

(4) 調査期間

2023年（令和5年）2月9日（木）～2月24日（金）

(5) 集計・分析方法

回答者全体を対象とした単純集計及び、属性別（性別、子育て世帯別、年代別、エリア別、職業別）のクロス集計を実施

(6) 集計表の見方

○回答結果は、各項目の無回答を含む有効回答数に対する百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。

○複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶことができる方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対しての、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。

○属性別集計表の中の横棒は、回答率（％）を示しています。

下記の【説明例】では、回答者全体（400人）の50.0％が項目1を選択したことを示しています。また、回答者全体を性別で見ると、男性回答者（190人）の56.0％、女性回答者（200人）の42.0％が項目1を選択したことを示しています。

【説明例】属性別集計表

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	400	190	200	10	90	280	30
項目1	50.0	56.0	42.0	50.0	51.0	49.0	54.0
項目2	30.0	24.0	38.0	30.0	33.0	29.0	30.0
項目3	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	19.0	15.0
項目4	5.0	5.0	5.0	0.0	1.0	3.0	0.0

○属性別集計表のうち、性別と子育て世帯別の表については、回答者全体の回答率より5.0ポイント以上高い項目を赤字、5.0ポイント以上低い項目を青字で表しています。

上記の【説明例】では、項目1の男性回答者の回答率（56.0％）が回答者全体の回答率（50.0％）を6.0ポイント（ $=56.0-50.0$ ）上回っているため、赤字で表記しています。

一方、項目1の女性回答者の回答率（42.0％）が回答者全体の回答率（50.0％）を8.0ポイント（ $=50.0-42.0$ ）下回っているため、青字で表記しています。

○属性別集計表のうち、年代別、エリア別、職業別の表については、回答者全体の回答率より10.0ポイント以上高い項目を赤字、10.0ポイント以上低い項目を青字で表しています。

(7) 発送・回収状況

図表 2-1 発送・回収状況

	モニター数	回答数	回答率
インターネット回答	496 件	210 件	42.3%
郵送回答	249 件	188 件	75.5%
合計	745 件	398 件	53.4%

図表 2-2 【属性別】発送・回収状況

【性別】

区分	モニター数	回答数	回答率
男性	353 件	185 件	52.4%
女性	387 件	208 件	53.7%
不明	5 件	5 件	100.0%

【年代】

区分	モニター数	回答数	回答率
10 歳代	50 件	16 件	32.0%
20 歳代	120 件	36 件	30.0%
30 歳代	139 件	62 件	44.6%
40 歳代	127 件	72 件	56.7%
50 歳代	101 件	62 件	61.4%
60 歳代	96 件	72 件	75.0%
70 歳以上	112 件	78 件	69.6%

【エリア】

区分	モニター数	回答数	回答率
中部	329 件	168 件	51.1%
南部	48 件	29 件	60.4%
松永	39 件	19 件	48.7%
北部	110 件	62 件	56.4%
東部	106 件	60 件	56.6%
神辺	54 件	39 件	72.2%
市内 (小学校区不明)	48 件	20 件	41.7%
市外	11 件	1 件	9.1%

【職業等】

区分	モニター数	回答数	回答率
正規雇用労働者	277 件	132 件	47.7%
非正規雇用労働者	82 件	47 件	57.3%
自営業	51 件	31 件	60.8%
主夫・主婦	114 件	74 件	64.9%
学生	80 件	25 件	31.3%
その他	141 件	89 件	63.1%

【子育て世帯】

区分	モニター数	回答数	回答率
はい	202 件	101 件	50.0%
いいえ	477 件	261 件	54.7%
不明	66 件	36 件	54.5%

3. 調査結果

(1) 環境美化条例について

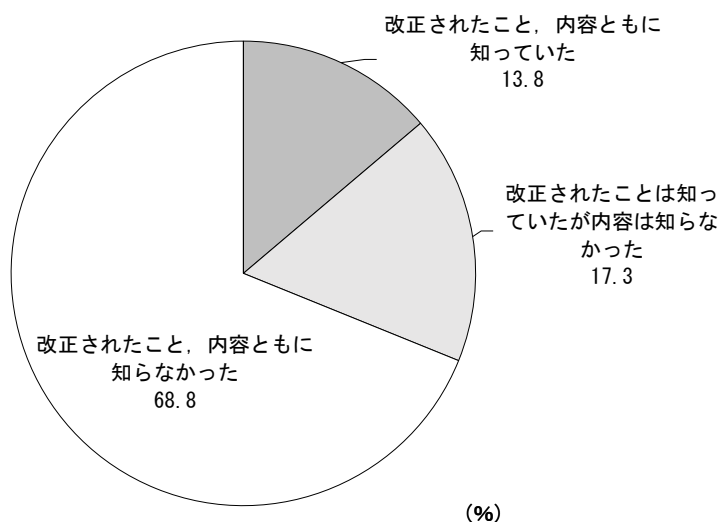
問1 環境美化条例が改正されたことと、その内容を知っていましたか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「改正されたこと、内容ともに知らなかった」が68.8%と顕著に高くなっています。次いで、「改正されたことは知っていたが内容は知らなかった」(17.3%)、「改正されたこと、内容ともに知っていた」(13.8%)となっています。

図表 3-1 環境美化条例が改正されたことと、その内容について

回答者数：398



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『女性』で「改正されたこと、内容ともに知らなかった」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「改正されたこと、内容ともに知らなかった」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
改正されたこと、内容ともに知っていた	13.8	18.4	10.1	0.0	7.9	17.2	5.6
改正されたことは知っていたが内容は知らなかった	17.3	20.0	14.9	20.0	16.8	18.4	11.1
改正されたこと、内容ともに知らなかった	68.8	61.6	75.0	80.0	75.2	64.4	83.3
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「改正されたこと、内容ともに知らなかった」が高く、『70歳以上』では「改正されたこと、内容ともに知っていた」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
改正されたこと、内容ともに知っていた	13.8	6.3	8.3	8.1	8.3	16.1	13.9	25.6
改正されたことは知っていたが内容は知らなかった	17.3	6.3	19.4	14.5	19.4	9.7	16.7	25.6
改正されたこと、内容ともに知らなかった	68.8	87.5	72.2	77.4	72.2	74.2	69.4	48.7
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』では「改正されたこと、内容ともに知らなかった」が高く、『東部』では「改正されたこと、内容ともに知っていた」が高く、『神辺』では「改正されたことは知っていたが内容は知らなかった」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
改正されたこと、内容ともに知っていた	13.8	15.5	10.3	5.3	6.5	28.3	5.1	10.0	0.0
改正されたことは知っていたが内容は知らなかった	17.3	17.9	17.2	15.8	17.7	10.0	28.2	10.0	100.0
改正されたこと、内容ともに知らなかった	68.8	66.7	72.4	78.9	75.8	61.7	66.7	80.0	0.0
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「改正されたこと、内容ともに知らなかった」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
改正されたこと、内容ともに知っていた	13.8	11.4	12.8	19.4	13.5	4.0	19.1
改正されたことは知っていたが内容は知らなかった	17.3	15.2	10.6	22.6	23.0	16.0	18.0
改正されたこと、内容ともに知らなかった	68.8	73.5	76.6	58.1	63.5	80.0	62.9
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

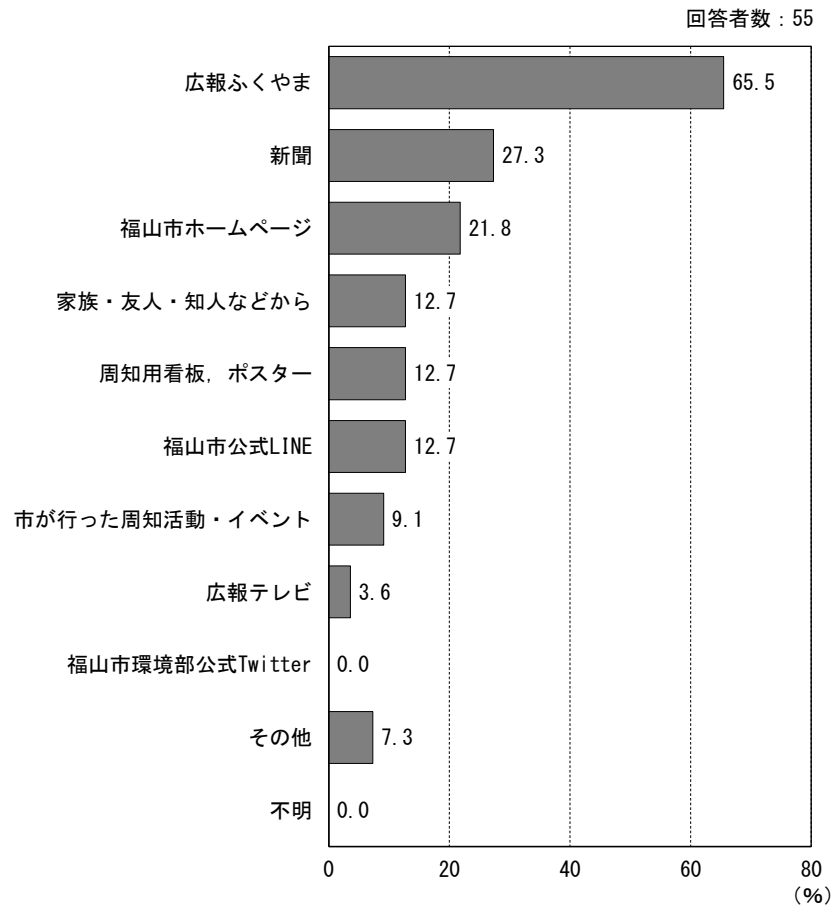
問 2

【問 1 で「① 改正されたこと、内容ともに知っていた」と答えた方にお聞きます。】
 環境美化条例の改正をどうやって知りましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」
 を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「広報ふくやま」が 65.5% と顕著に多くなっています。次いで、「新聞」(27.3%)、「福山市ホームページ」(21.8%) などとなっています。

図表 3-2 環境美化条例の改正を知った媒体・場所



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
市議会議員から	男性	20 歳代	中部
福山はぐくみ会教育フォーラムの時	女性	30 歳代	中部
TV のニュースで知った	男性	50 歳代	松永

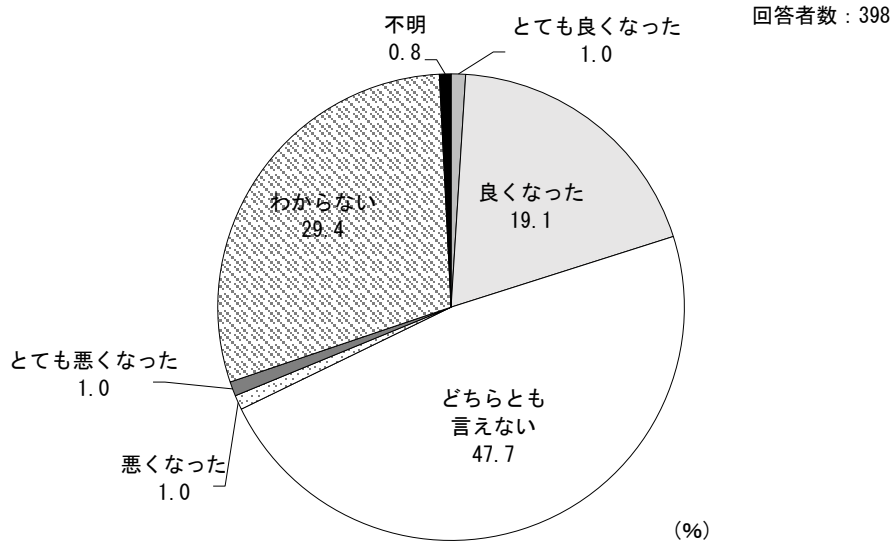
問3

環境美化条例が施行された2022年（令和4年）4月1日以降に、日常生活の中で、ポイ捨ての状況や喫煙マナーについて変化を感じますか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「どちらとも言えない」が47.7%と約半数を占めます。次いで、「わからない」(29.4%)、「良くなった」(19.1%)となっています。

図表3-3 環境美化条例の施行以降、日常生活の中で感じた、ポイ捨ての状況や喫煙マナーの変化



【属性別】

性別で見ると、回答者全体と比較して、『男性』で「わからない」が低くなっています。子育て世帯別で見ると、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
とても良くなった	1.0	0.5	1.4	0.0	2.0	0.8	0.0
良くなった	19.1	18.9	18.8	40.0	16.8	20.3	16.7
どちらとも言えない	47.7	52.4	43.8	40.0	49.5	48.7	36.1
悪くなった	1.0	1.6	0.5	0.0	2.0	0.4	2.8
とても悪くなった	1.0	1.6	0.5	0.0	2.0	0.8	0.0
わからない	29.4	24.3	34.1	20.0	27.7	28.0	44.4
不明	0.8	0.5	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「わからない」が高く、『40歳代』では「どちらとも言えない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
とても良くなった	1.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	1.3
良くなった	19.1	25.0	19.4	17.7	9.7	22.6	18.1	25.6
どちらとも言えない	47.7	25.0	41.7	43.5	58.3	48.4	51.4	44.9
悪くなった	1.0	0.0	0.0	1.6	1.4	0.0	0.0	2.6
とても悪くなった	1.0	0.0	0.0	1.6	1.4	1.6	1.4	0.0
わからない	29.4	50.0	38.9	35.5	25.0	27.4	27.8	23.1
不明	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』で「わからない」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
とても良くなった	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
良くなった	19.1	19.0	17.2	21.1	14.5	26.7	23.1	5.0	0.0
どちらとも言えない	47.7	56.5	31.0	47.4	43.5	38.3	35.9	60.0	100.0
悪くなった	1.0	0.6	0.0	0.0	3.2	1.7	0.0	0.0	0.0
とても悪くなった	1.0	1.2	3.4	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
わからない	29.4	20.8	48.3	31.6	38.7	26.7	38.5	35.0	0.0
不明	0.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

職業別で見ると、回答者全体と比較して、『自営業』では「どちらとも言えない」が高く、『学生』では「良くなった」「わからない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用 労働者	非正規雇用 労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
とても良くなった	1.0	0.8	0.0	3.2	1.4	0.0	1.1
良くなった	19.1	19.7	21.3	6.5	20.3	32.0	16.9
どちらとも言えない	47.7	47.0	38.3	74.2	48.6	28.0	49.4
悪くなった	1.0	0.8	0.0	3.2	0.0	0.0	2.2
とても悪くなった	1.0	1.5	2.1	0.0	0.0	0.0	1.1
わからない	29.4	30.3	38.3	12.9	27.0	40.0	28.1
不明	0.8	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	1.1

問 4

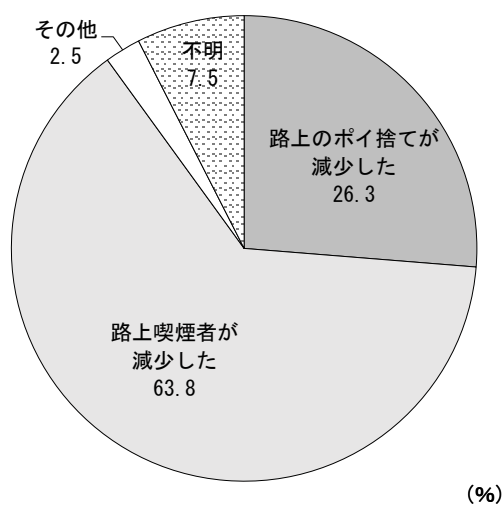
【問3で「① とても良くなった」又は「② 良くなった」と答えた方にお聞きします。】
その理由について、次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

「路上喫煙者が減少した」が63.8%と顕著に高く、次いで「路上のポイ捨てが減少した」(26.3%)となっています。

図表 3-4 「とても良くなった」又は「良くなった」と回答した理由

回答者数：80



問5

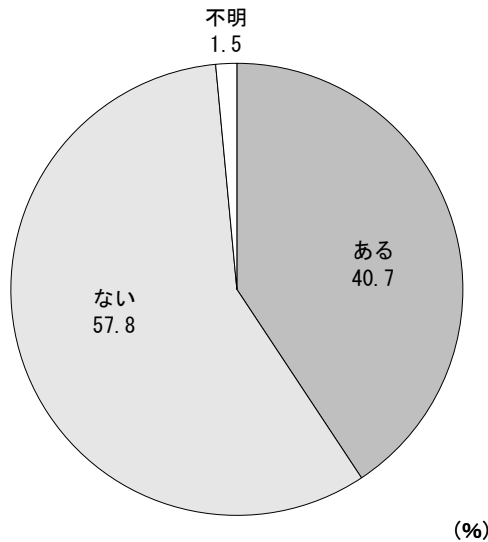
環境美化条例が施行された2022年（令和4年）4月1日以降に、日常生活の中で、受動喫煙にあったことがありますか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「ない」（57.8%）が「ある」（40.7%）を上回っています。

図表3-5 環境美化条例の施行以降、日常生活の中で、受動喫煙にあった経験

回答者数：398



【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「ある」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
ある	40.7	43.2	38.9	20.0	54.5	35.6	38.9
ない	57.8	55.7	59.1	80.0	44.6	62.5	61.1
不明	1.5	1.1	1.9	0.0	1.0	1.9	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『40歳代』では「ある」が高く、『70歳以上』では「ない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
ある	40.7	37.5	41.7	46.8	52.8	46.8	30.6	29.5
ない	57.8	62.5	58.3	53.2	45.8	53.2	65.3	67.9
不明	1.5	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	4.2	2.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』で「ない」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
ある	40.7	44.6	34.5	26.3	40.3	38.3	38.5	45.0	0.0
ない	57.8	54.2	65.5	73.7	58.1	60.0	59.0	50.0	100.0
不明	1.5	1.2	0.0	0.0	1.6	1.7	2.6	5.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「ない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
ある	40.7	48.5	48.9	35.5	35.1	32.0	33.7
ない	57.8	51.5	46.8	64.5	62.2	68.0	64.0
不明	1.5	0.0	4.3	0.0	2.7	0.0	2.2

問 6

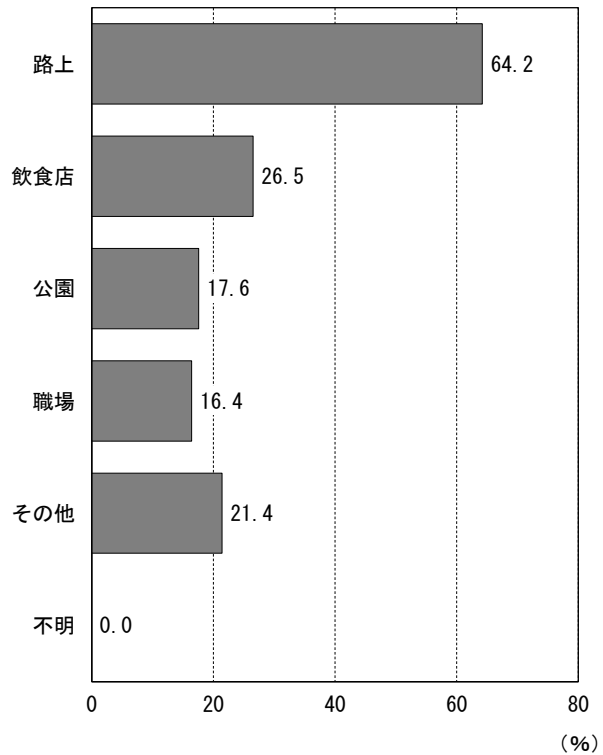
【問5で「① ある」と答えた方にお聞きします。】
 受動喫煙にあったのはどのような場所ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「路上」が64.2%と顕著に多くなっています。次いで、「飲食店」(26.5%)などとなっています。

図表 3-6 環境美化条例の施行以降、日常生活の中で、受動喫煙にあった場所

回答者数：162



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
家	女性	20 歳代	北部
駅周辺	男性	30 歳代	中部
ショッピングモールの駐車場	男性	40 歳代	北部
家の外で喫煙されてる方の煙	女性	40 歳代	中部
コンビニ	女性	50 歳代	中部

問7

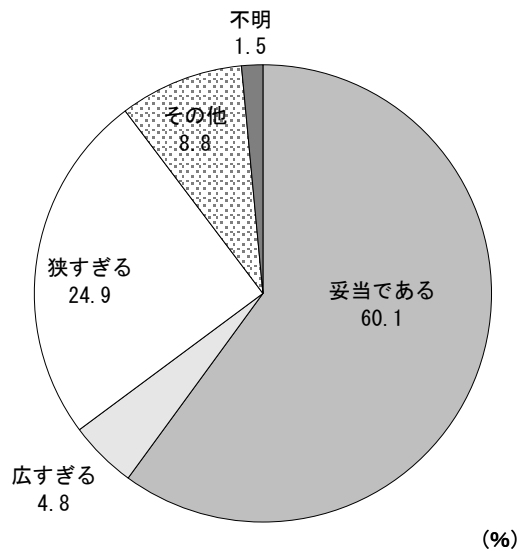
「路上喫煙制限区域」、「美化推進重点区域」の範囲は、「ウォークブルエリア」と同様としています。範囲の広さについてどのように思いますか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「妥当である」が60.1%と過半数を占め、次いで「狭すぎる」(24.9%)となっています。

図表 3-7 「路上喫煙制限区域」、「美化推進重点区域」の範囲の広さについての見解

回答者数：398



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
お酒が飲める飲食店が多い場所に被っているのが気になる	女性	20 歳代	南部
喫煙所が設けられて整備されていれば、全ての場所で路上喫煙禁止でよいと思う。	女性	30 歳代	中部
街全体になぜしないのか。ポイ捨てする人や歩きタバコする人が範囲を気にしているとは思えない	女性	40 歳代	中部
判断基準が不明。	男性	50 歳代	中部
広さに関係なく、公共の施設回りの区域は、環境美化条例の対象にするべきだと思う。	女性	60 歳代	南部
家庭で教育しないところでは、こんなことを制限しても意味がない。	男性	70 歳以上	北部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「狭すぎる」が高く、『女性』では「妥当である」が高くなっています。

子育て世帯別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
妥当である	60.1	52.4	66.8	60.0	60.4	59.8	61.1
広すぎる	4.8	4.3	5.3	0.0	6.9	4.6	0.0
狭すぎる	24.9	33.0	18.3	0.0	26.7	23.4	30.6
その他	8.8	9.7	7.7	20.0	5.9	10.0	8.3
不明	1.5	0.5	1.9	20.0	0.0	2.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』で「妥当である」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
妥当である	60.1	93.8	66.7	62.9	61.1	51.6	52.8	60.3
広すぎる	4.8	0.0	11.1	4.8	2.8	9.7	2.8	2.6
狭すぎる	24.9	6.3	19.4	25.8	26.4	32.3	29.2	19.2
その他	8.8	0.0	2.8	6.5	9.7	6.5	13.9	11.5
不明	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	6.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『北部』では「狭すぎる」が高く、『東部』では「妥当である」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
妥当である	60.1	58.9	62.1	57.9	50.0	71.7	66.7	50.0	100.0
広すぎる	4.8	4.2	6.9	10.5	3.2	3.3	5.1	10.0	0.0
狭すぎる	24.9	27.4	17.2	31.6	37.1	13.3	17.9	20.0	0.0
その他	8.8	9.5	10.3	0.0	9.7	8.3	5.1	15.0	0.0
不明	1.5	0.0	3.4	0.0	0.0	3.3	5.1	5.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「妥当である」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用 労働者	非正規雇用 労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
妥当である	60.1	62.1	59.6	45.2	63.5	100.0	48.3
広すぎる	4.8	7.6	8.5	3.2	2.7	0.0	2.2
狭すぎる	24.9	23.5	25.5	29.0	21.6	0.0	34.8
その他	8.8	6.8	6.4	22.6	8.1	0.0	11.2
不明	1.5	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	3.4

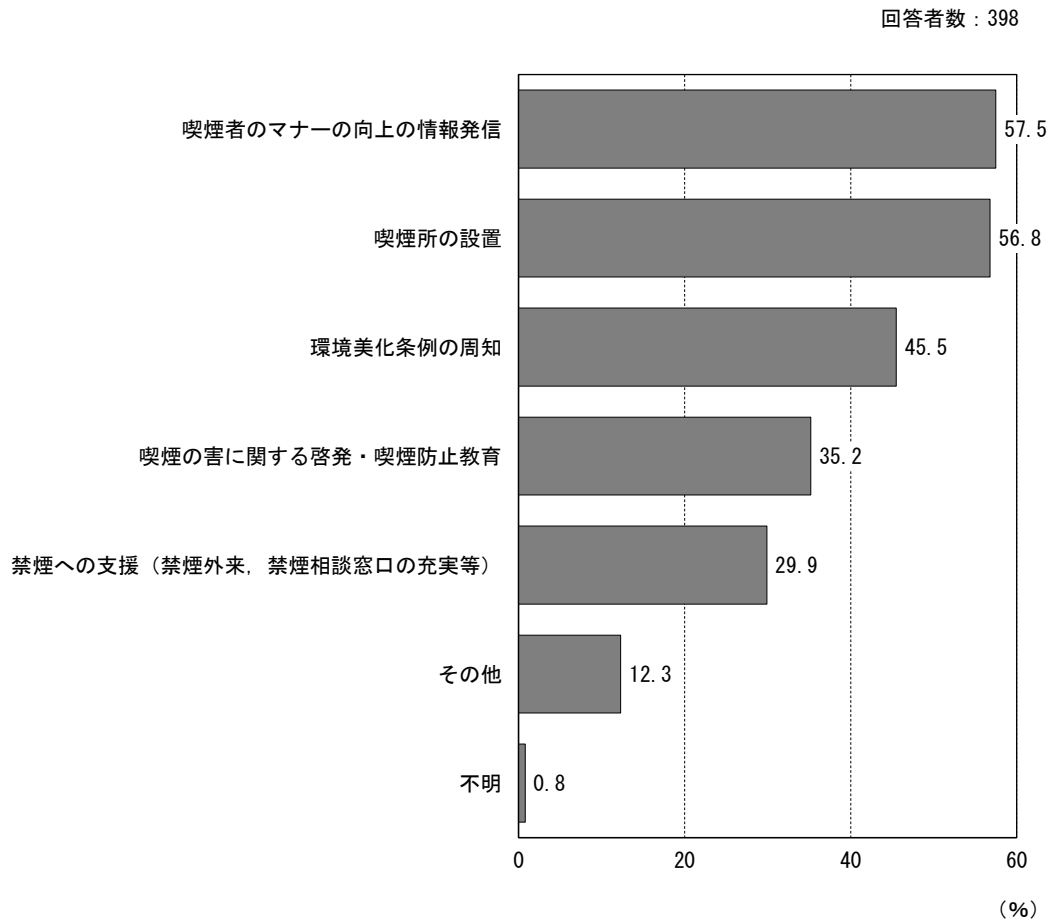
問 8

路上喫煙によるたばこの吸い殻のポイ捨てや受動喫煙を防止するために、どのような支援や取組が必要だと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「喫煙者のマナーの向上の情報発信」(57.5%)と「喫煙所の設置」(56.8%)が多くなっています。

図表 3-8 路上喫煙によるたばこの吸い殻のポイ捨てや受動喫煙を防止するために、必要だと思う支援や取組



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
タバコが吸える場所がないと、喫煙者の行動は変わらないと思う。	女性	30 歳代	中部
普通の紙タバコ、電子タバコ、パイプなどで種類によってルールを決めるべき。普通の紙タバコは燃えるし煙も有害だが、危なく不快だが、それ以外はそこまで規制しなくてよい。	女性	40 歳代	中部
喫煙所（囲いをつくる）	女性	50 歳代	中部
学校教育、公民館（地域）でもそういう意識の啓発ができれば良いと思います。	女性	50 歳代	東部
啓発や支援の取組は重要であるが、ポイ捨て等の罰則化が効果的と思われる。	男性	60 歳代	北部
大人だけでなく、保育園や小中高の子達にも周知させる。	女性	70 歳以上	北部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「喫煙者のマナーの向上の情報発信」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「環境美化条例の周知」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
禁煙への支援（禁煙外来、禁煙相談窓口の充実等）	29.9	30.8	29.3	20.0	31.7	29.5	27.8
喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育	35.2	35.7	35.1	20.0	30.7	36.0	41.7
喫煙者のマナーの向上の情報発信	57.5	63.2	52.9	40.0	54.5	59.0	55.6
環境美化条例の周知	45.5	44.3	46.2	60.0	51.5	42.5	50.0
喫煙所の設置	56.8	55.7	57.7	60.0	57.4	57.9	47.2
その他	12.3	15.7	9.6	0.0	8.9	13.4	13.9
不明	0.8	0.5	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『20歳代』『30歳代』では「喫煙所の設置」が高く、『50歳代』では「喫煙者のマナーの向上の情報発信」が高く、『70歳以上』では「喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
禁煙への支援（禁煙外来、禁煙相談窓口の充実等）	29.9	18.8	33.3	33.9	26.4	32.3	26.4	32.1
喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育	35.2	31.3	22.2	29.0	25.0	40.3	36.1	51.3
喫煙者のマナーの向上の情報発信	57.5	43.8	36.1	50.0	52.8	69.4	66.7	62.8
環境美化条例の周知	45.5	25.0	44.4	53.2	51.4	35.5	41.7	50.0
喫煙所の設置	56.8	62.5	69.4	74.2	55.6	50.0	52.8	46.2
その他	12.3	0.0	5.6	12.9	16.7	16.1	6.9	15.4
不明	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』で「禁煙への支援（禁煙外来、禁煙相談窓口の充実等）」「喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育」「喫煙者のマナーの向上の情報発信」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
禁煙への支援（禁煙外来、禁煙相談窓口の充実等）	29.9	29.8	34.5	47.4	21.0	38.3	25.6	15.0	100.0
喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育	35.2	31.0	31.0	63.2	35.5	41.7	41.0	20.0	0.0
喫煙者のマナーの向上の情報発信	57.5	58.3	51.7	68.4	62.9	65.0	41.0	40.0	100.0
環境美化条例の周知	45.5	48.2	48.3	26.3	41.9	43.3	46.2	50.0	100.0
喫煙所の設置	56.8	57.7	48.3	47.4	56.5	51.7	56.4	85.0	100.0
その他	12.3	13.7	20.7	5.3	14.5	8.3	2.6	20.0	0.0
不明	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育」が高く、『主夫・主婦』では「環境美化条例の周知」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
禁煙への支援（禁煙外来、禁煙相談窓口の充実等）	29.9	25.0	34.0	32.3	32.4	28.0	32.6
喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育	35.2	24.2	46.8	45.2	41.9	24.0	39.3
喫煙者のマナーの向上の情報発信	57.5	54.5	59.6	64.5	59.5	44.0	60.7
環境美化条例の周知	45.5	38.6	53.2	45.2	56.8	40.0	43.8
喫煙所の設置	56.8	62.1	53.2	54.8	55.4	64.0	50.6
その他	12.3	12.9	14.9	12.9	8.1	0.0	16.9
不明	0.8	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	1.1

(2) ボランティア活動について

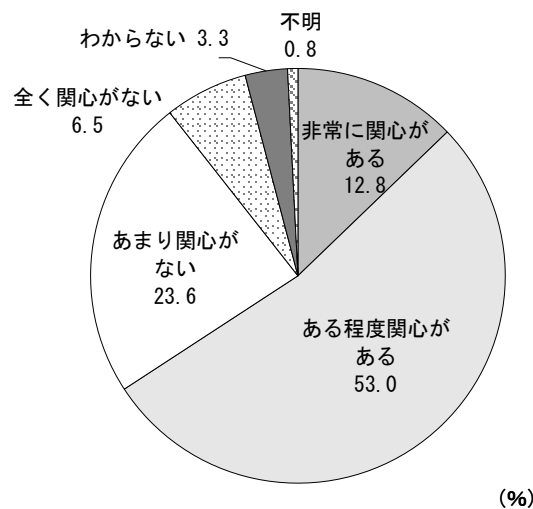
問1 自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力、技術などを提供することを、ボランティア活動といいます。あなたはボランティア活動に関心がありますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「ある程度関心がある」が53.0%と過半数を占め、次いで「あまり関心がない」(23.6%)となっています。

図表 3-9 ボランティア活動について

回答者数：398



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「非常に関心がある」が高く、『女性』では「ある程度関心がある」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい (子育て世帯)』で「あまり関心がない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
非常に関心がある	12.8	18.4	7.7	20.0	7.9	14.9	11.1
ある程度関心がある	53.0	47.0	58.7	40.0	55.4	52.1	52.8
あまり関心がない	23.6	23.2	23.6	40.0	29.7	21.1	25.0
全く関心がない	6.5	7.0	6.3	0.0	5.9	7.3	2.8
わからない	3.3	3.8	2.9	0.0	1.0	3.4	8.3
不明	0.8	0.5	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「ある程度関心がある」が高く、『30歳代』では「あまり関心がない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
非常に関心がある	12.8	6.3	8.3	6.5	6.9	12.9	18.1	21.8
ある程度関心がある	53.0	75.0	58.3	48.4	55.6	46.8	52.8	52.6
あまり関心がない	23.6	12.5	19.4	33.9	26.4	27.4	23.6	14.1
全く関心がない	6.5	6.3	11.1	9.7	9.7	3.2	4.2	3.8
わからない	3.3	0.0	0.0	1.6	1.4	9.7	1.4	5.1
不明	0.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』で「ある程度関心がある」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
非常に関心がある	12.8	13.7	3.4	10.5	11.3	20.0	12.8	5.0	0.0
ある程度関心がある	53.0	54.2	62.1	63.2	50.0	50.0	56.4	35.0	0.0
あまり関心がない	23.6	24.4	20.7	21.1	24.2	18.3	20.5	40.0	100.0
全く関心がない	6.5	5.4	10.3	0.0	6.5	6.7	7.7	15.0	0.0
わからない	3.3	2.4	3.4	5.3	6.5	3.3	0.0	5.0	0.0
不明	0.8	0.0	0.0	0.0	1.6	1.7	2.6	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「ある程度関心がある」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
非常に関心がある	12.8	9.1	8.5	22.6	20.3	4.0	13.5
ある程度関心がある	53.0	52.3	61.7	58.1	48.6	64.0	48.3
あまり関心がない	23.6	27.3	23.4	16.1	18.9	20.0	25.8
全く関心がない	6.5	8.3	6.4	3.2	8.1	8.0	3.4
わからない	3.3	3.0	0.0	0.0	1.4	0.0	9.0
不明	0.8	0.0	0.0	0.0	2.7	4.0	0.0

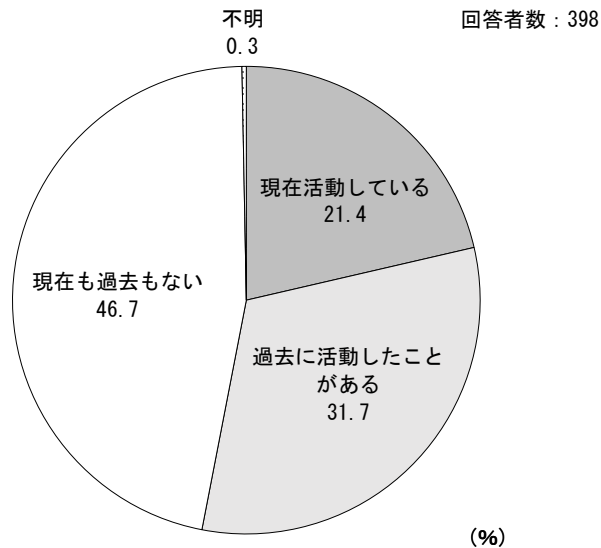
問2

あなたは、ボランティア活動をしていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「現在も過去もない」が46.7%と最も高く、次いで、「過去に活動したことがある」(31.7%)、「現在活動している」(21.4%)となっています。

図表 3-10 ボランティア活動の経験



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「現在活動している」が高く、『女性』では「現在も過去もない」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい(子育て世帯)』で「現在も過去もない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
現在活動している	21.4	29.2	14.9	0.0	12.9	24.9	19.4
過去に活動したことがある	31.7	29.2	32.7	80.0	32.7	29.9	41.7
現在も過去もない	46.7	41.1	52.4	20.0	54.5	45.2	36.1
不明	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8

年代別で見ると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「過去に活動したことがある」が高く、『30歳代』では「現在も過去もない」が高く、『60歳代』『70歳以上』では「現在活動している」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
現在活動している	21.4	0.0	11.1	6.5	12.5	22.6	31.9	39.7
過去に活動したことがある	31.7	75.0	38.9	29.0	33.3	24.2	26.4	30.8
現在も過去もない	46.7	25.0	50.0	64.5	54.2	53.2	41.7	28.2
不明	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3

エリア別で見ると、回答者全体と比較して、『松永』で「過去に活動したことがある」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
現在活動している	21.4	26.8	20.7	10.5	19.4	23.3	12.8	5.0	0.0
過去に活動したことがある	31.7	26.8	34.5	42.1	37.1	35.0	38.5	15.0	100.0
現在も過去もない	46.7	46.4	44.8	42.1	43.5	41.7	48.7	80.0	0.0
不明	0.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

職業別で見ると、回答者全体と比較して、『正規雇用労働者』では「現在も過去もない」が高く、『自営業』では「現在活動している」が高く、『学生』では「過去に活動したことがある」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
現在活動している	21.4	13.6	21.3	35.5	31.1	4.0	24.7
過去に活動したことがある	31.7	28.0	36.2	32.3	24.3	52.0	34.8
現在も過去もない	46.7	58.3	42.6	32.3	44.6	44.0	39.3
不明	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1

問3

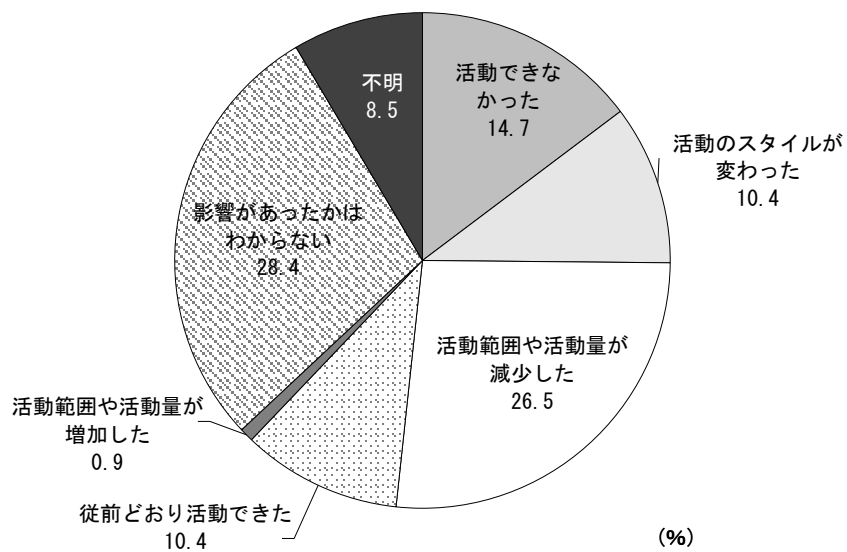
【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
あなたの活動は、新型コロナウイルス感染症により、影響がありましたか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

「影響があったかはわからない」が28.4%と最も多く、次いで「活動範囲や活動量が減少した」(26.5%)となっています。

図表3-11 新型コロナウイルス感染症によるボランティア活動への影響

回答者数：211



問4-1

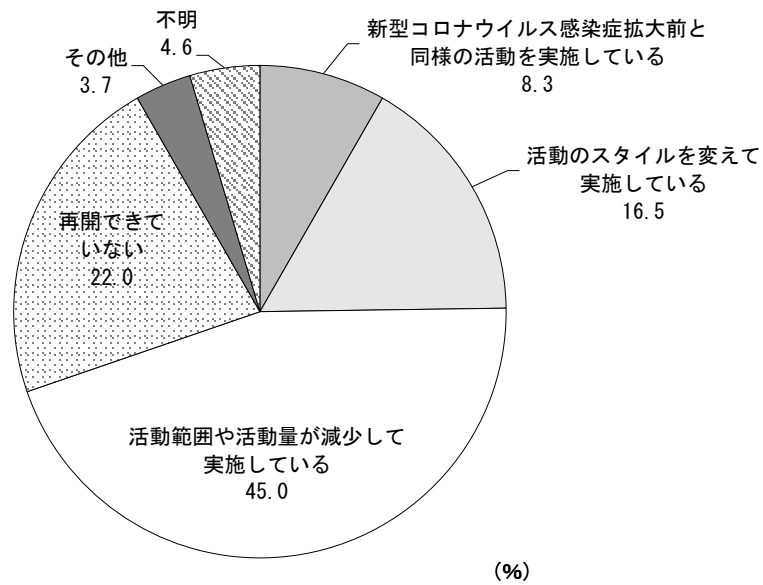
【問3で「①活動できなかった」「②活動のスタイルが変わった」「③活動範囲や活動量が減少した」と答えた方にお聞きます。】
その活動は、現在どのように実施していますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

「活動範囲や活動量が減少して実施している」が45.0%と約半数を占めます。次いで、「再開できていない」(22.0%)、「活動のスタイルを変えて実施している」(16.5%)となっています。

図表3-12 新型コロナウイルス感染症による影響を受けたボランティア活動の現在の実施状況

回答者数：109



問4-2 【問3で「①活動できなかった」「②活動のスタイルが変わった」「③活動範囲や活動量が減少した」と答えた方にお聞きます。】
 コロナ禍での活動に対し、必要だと感じた支援があれば記入してください。【自由記述】

【回答者全体】

「新型コロナウイルス感染症に関する情報提供」「デジタル化支援」「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策」に関する意見が複数ありました。

図表 3-13 コロナ禍でのボランティア活動に対し、必要だと感じた支援についての主な意見

新型コロナウイルス感染症に関する情報提供（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
感染時の生活対応の仕方・対処の情報提供	男性	60歳代	東部
COVID19の特性を十分、周知徹底すれば、活動を粛正しなくても活動は出来たはず。 なので、市民に正しい知識を、周知してほしい。	男性	70歳以上	中部

デジタル化支援（5件）

自由記述	性別	年代	エリア
WEBと現地集合の兼用が増えたため、フリーWi-Fiがある会議室などが助かった。	男性	40歳代	中部
（個人に対して） ・WEB会議等に使用する、パソコン付属装置（例：カメラ）投資などに補助金を検討したらどうか。 （町内会・自治組織） ・町内会が管理している集会所等にWEB会議実施可能になるように補助したらどうか。	男性	60歳代	北部

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策（4件）

自由記述	性別	年代	エリア
PCR検査をもう少しやりやすくしてほしい。会場を増やすなど。	男性	60歳代	東部
多くの人が集まる集会所などの空気清浄機、パティション、体温自動測定器等の購入費補助があればよかったと感じた。	男性	70歳以上	東部

その他（13件）

自由記述	性別	年代	エリア
気持ちの問題が大きいと思います。気持ちが以前の暮らし同等となるような仕組み（5/8に解禁イベントなど）が必要だと思います。	男性	40歳代	北部
状況に応じた福山市オリジナルの徹底項目の明確化が必要ではないか？今は沈静化に向かってはいるが、今後再三炎上することは予想され、タイムリーなケースバイケースの対応を指導していただきたい。	男性	60歳代	中部

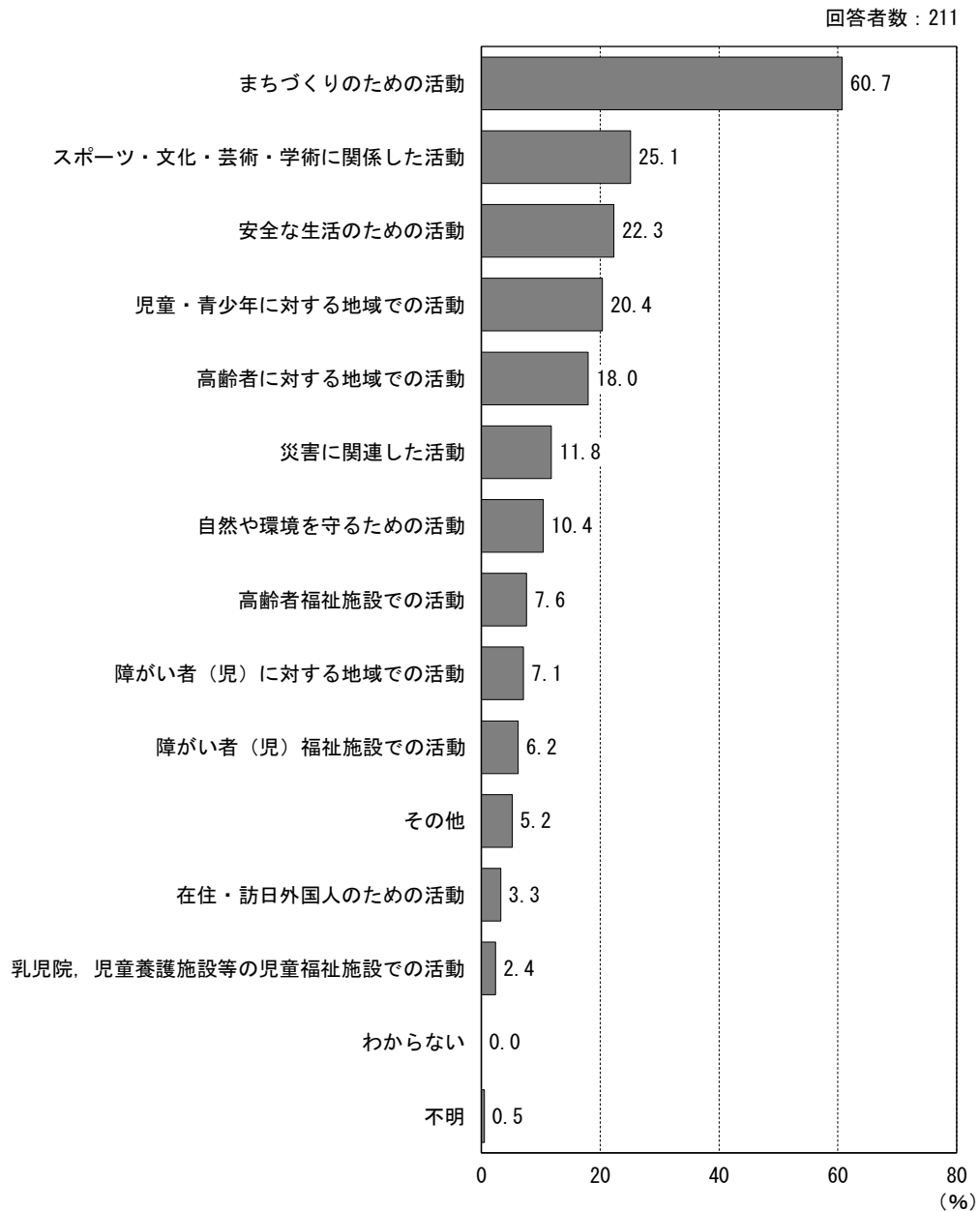
問5

【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
 それはどのようなボランティア活動ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「まちづくりのための活動」が60.7%と顕著に多くなっています。次いで、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」(25.1%)、「安全な生活のための活動」(22.3%)などとなっています。

図表 3-14 経験したことがあるボランティア活動の内容



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
果樹農業者の手伝い(梨の袋掛け作業)	女性	10歳代	南部
今は福祉関係の仕事をしていて参加できていないが、骨髄バンクの啓発活動をボランティアで行っていた。	女性	50歳代	北部
保護司・民生委員	男性	60歳代	中部

問6

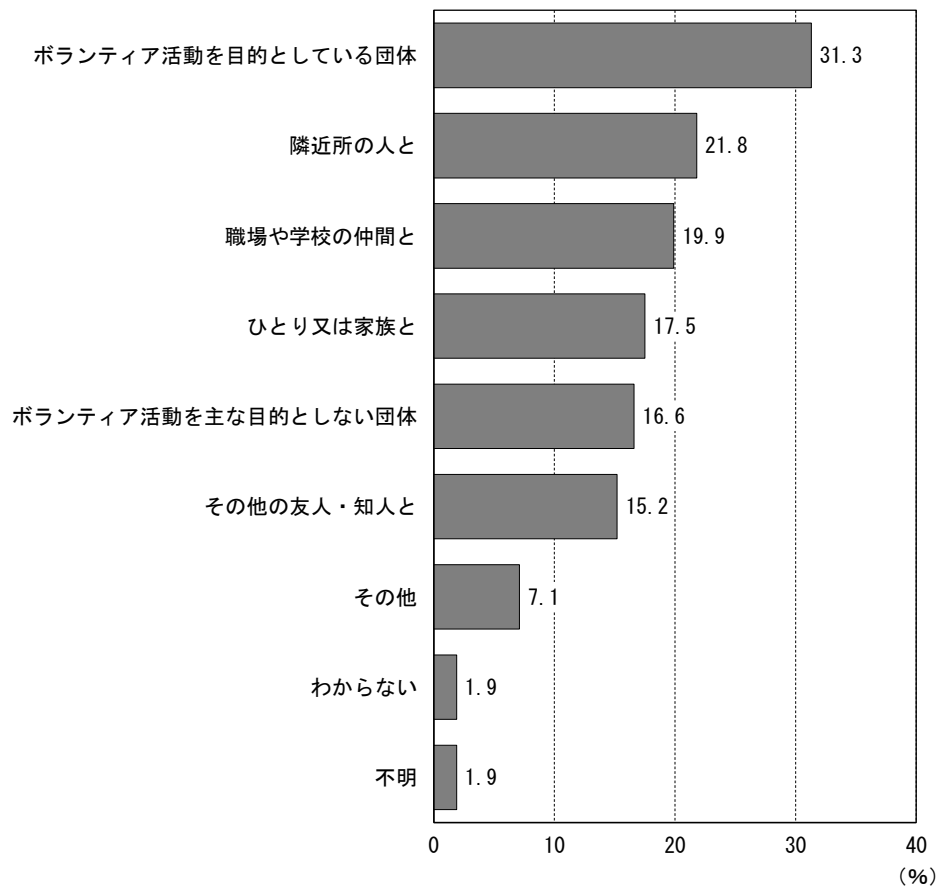
【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
 あなたは、団体などに加入して活動していますか。またはしていましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「ボランティア活動を目的としている団体」が31.3%と最も多くなっています。次いで、「隣近所の人と」(21.8%)、「職場や学校の仲間と」(19.9%)などとなっています。

図表3-15 ボランティア活動を行うにあたって、団体などへの加入の状況・経験

回答者数：211



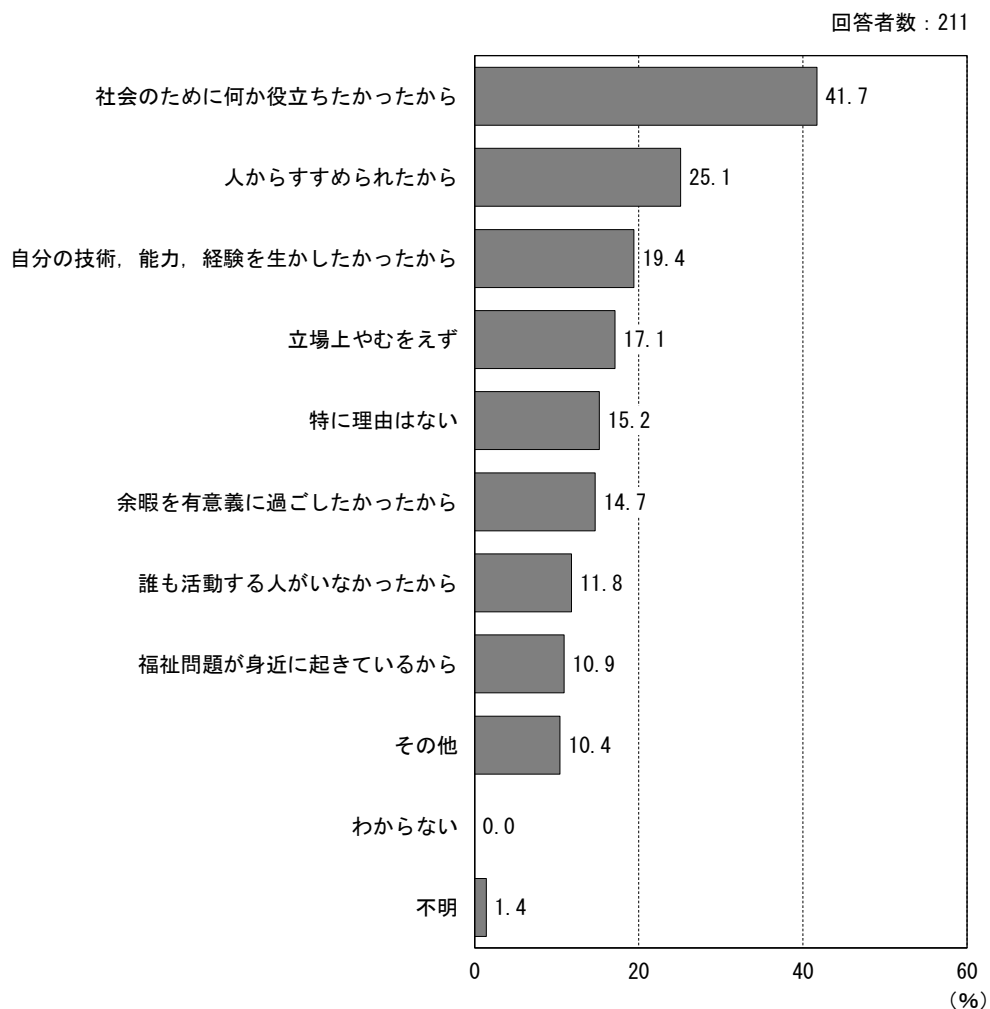
問7

【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
 あなたがボランティア活動を始めたきっかけは何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「社会のために何か役立ちたかったから」が41.7%と顕著に多くなっています。次いで、「人からすすめられたから」(25.1%)、「自分の技術、能力、経験を生かしたかったから」(19.4%)などとなっています。

図表 3-16 ボランティア活動を始めたきっかけ



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
大学のゼミ活動の一環	女性	10 歳代	南部
大学のサークルで	女性	20 歳代	中部
仕事以外の人と出会い、話をする事で視野が広がったり自分自身の成長につながると思っているから。	男性	30 歳代	中部
ゴミ拾い。歩くので運動にもなるから。	女性	40 歳代	神辺
子どもが小さい時に地域の方々にお世話になったので、その恩返し	男性	60 歳代	中部
主人が色々長い間ボランティアにかかわっていたので一緒に出席していた。	女性	70 歳以上	神辺

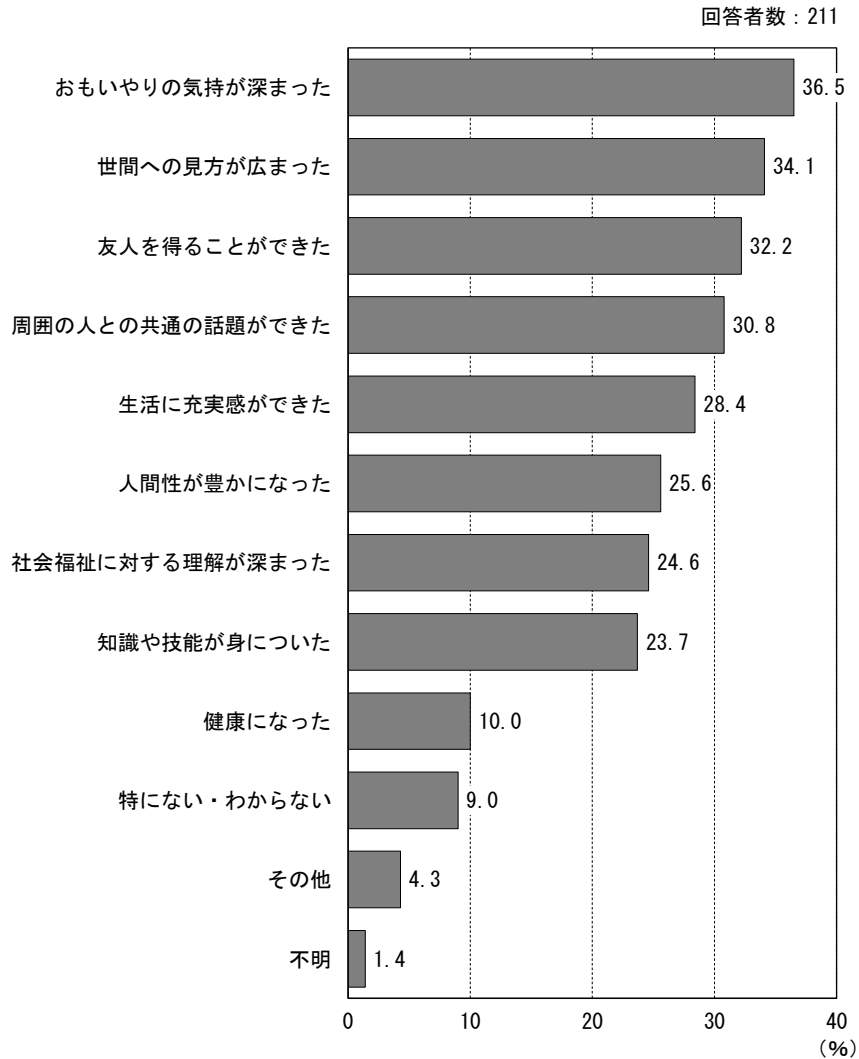
問 8

【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
 あなた自身にとってボランティア活動をしてよかったと思ったことは何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「おもいやりの気持ちが深まった」が36.5%と最も多く、次いで、「世間への見方が広まった」(34.1%)、「友人を得ることができた」(32.2%)などとなっています。

図表 3-17 ボランティア活動をしてよかったと思ったこと



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
地域の人達と沢山繋がる事ができた。	女性	30歳代	中部
自分が誰かの役に立つことは嬉しいです。	女性	60歳代	神辺

問9

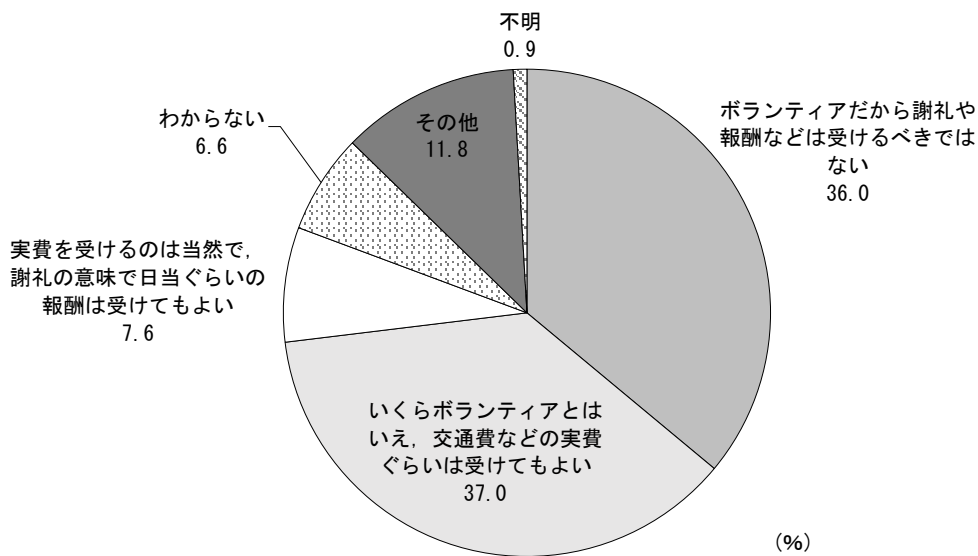
【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
 ボランティア活動に対する報酬について、あなたのお考えにいちばん近いのはどれですか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

「いくらボランティアとはいえ、交通費などの実費ぐらいは受けてもよい」(37.0%)と「ボランティアだから謝礼や報酬などは受けるべきではない」(36.0%)が高くなっています。

図表 3-18 ボランティア活動に対する報酬についての見解

回答者数：211



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
当然として受け取るものと考えてはいないが、渡されるものがあれば、感謝して受け取っている。	女性	30歳代	中部
実費の有無を決めるのは主催者で、参加者が好みにあったものを選べば良い。ボランティアの内容により、実費の要不要が変わると思う。	女性	40歳代	中部
ケースバイケースでいいと思う。	女性	50歳代	中部
ボランティアの活動内容にもよると思う。短時間活動であれば不要だし、自己の道具持参などの場合はあってもいいかとも思う。	性	60歳代	中部
ボランティアの内容によっては保険（ケガ）が必要である。	女性	70歳以上	東部

問 10

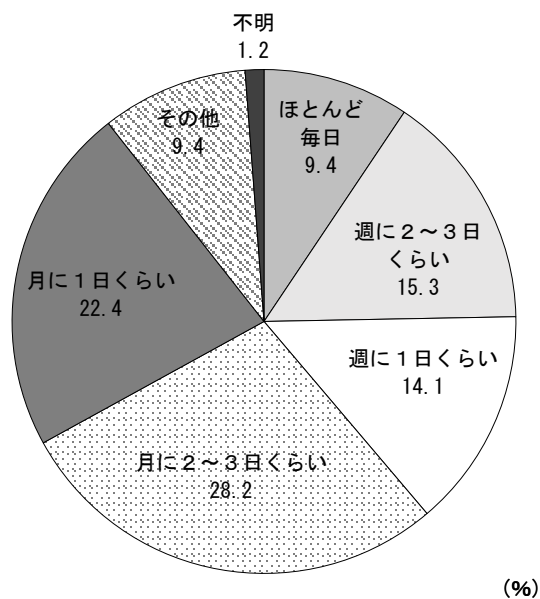
【問2で「①現在活動している」と答えた方にお聞きします。】
 それらの活動をどれくらいしていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。（定期的な活動，不定期の活動に関係なく，また1日にいくつかの活動をしている場合も活動時間に関係なく1日として数えてください。）【単数回答】

【回答者全体】

「月に2～3日くらい」が28.2%と最も高く，次いで「月に1日くらい」(22.4%)となっています。

図表 3-19 現在のボランティア活動の頻度

回答者数：85



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
半年に1日くらい	男性	20歳代	中部
年に数回	男性	60歳代	北部
コロナ禍になる前は（学区・町内会）。現在は年に2～3日（現在は町内会のみ）	女性	70歳以上	東部

問 11

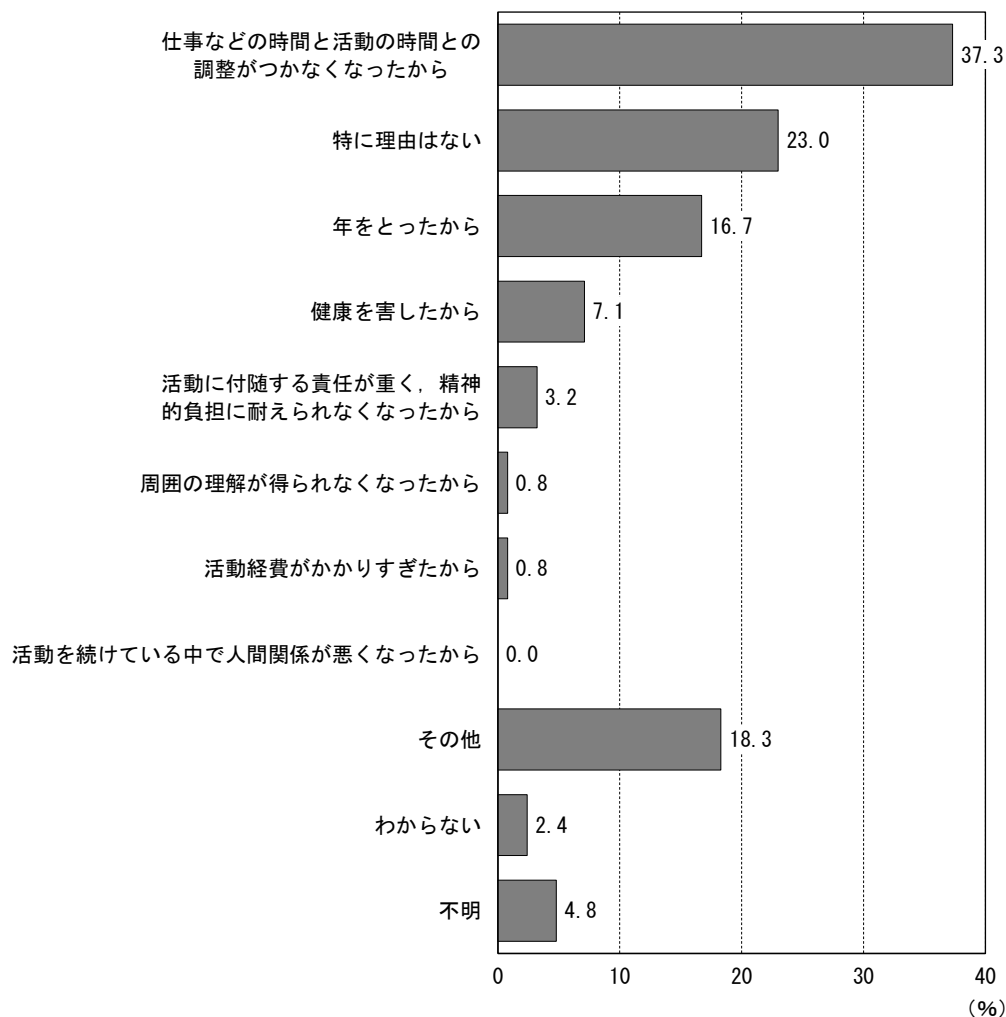
【問 2 で「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
 あなたがボランティア活動をやめた理由は何ですか。次の中から当てはまるものに「○」
 を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「仕事などの時間と活動の時間との調整がつかなくなったから」が 37.3%と最も高く、次いで、「特に理由はない」(23.0%)、「年をとったから」(16.7%) などとなっています。

図表 3-20 ボランティア活動をやめた理由

回答者数：126



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
大学のゼミ活動の一環だったから	女性	10 歳代	南部
結婚したから	女性	20 歳代	中部
コロナウイルスの影響で参加していたイベントができなくなったため。	女性	30 歳代	神辺
活動への意欲が無くなったから	女性	40 歳代	東部
引越したため（人事異動による）	男性	50 歳代	中部
介護	男性	60 歳代	東部
任期が終わったから	男性	70 歳以上	北部

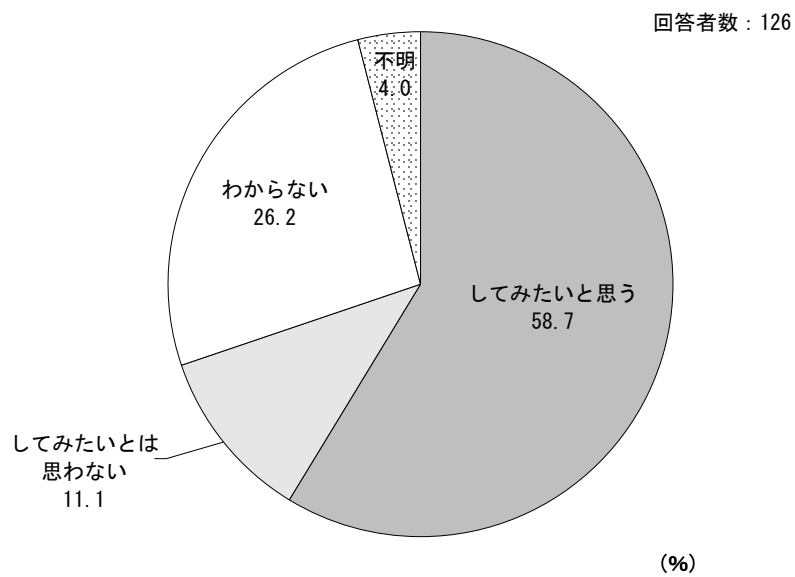
問 12

【問 2 で「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】
今後、機会があればまたボランティア活動をしてみたいと思いますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

「してみたいと思う」が 58.7%と過半数を占めています。次いで、「わからない」(26.2%) となっています。

図表 3-21 今後、ボランティア活動を再開する意向



問 13

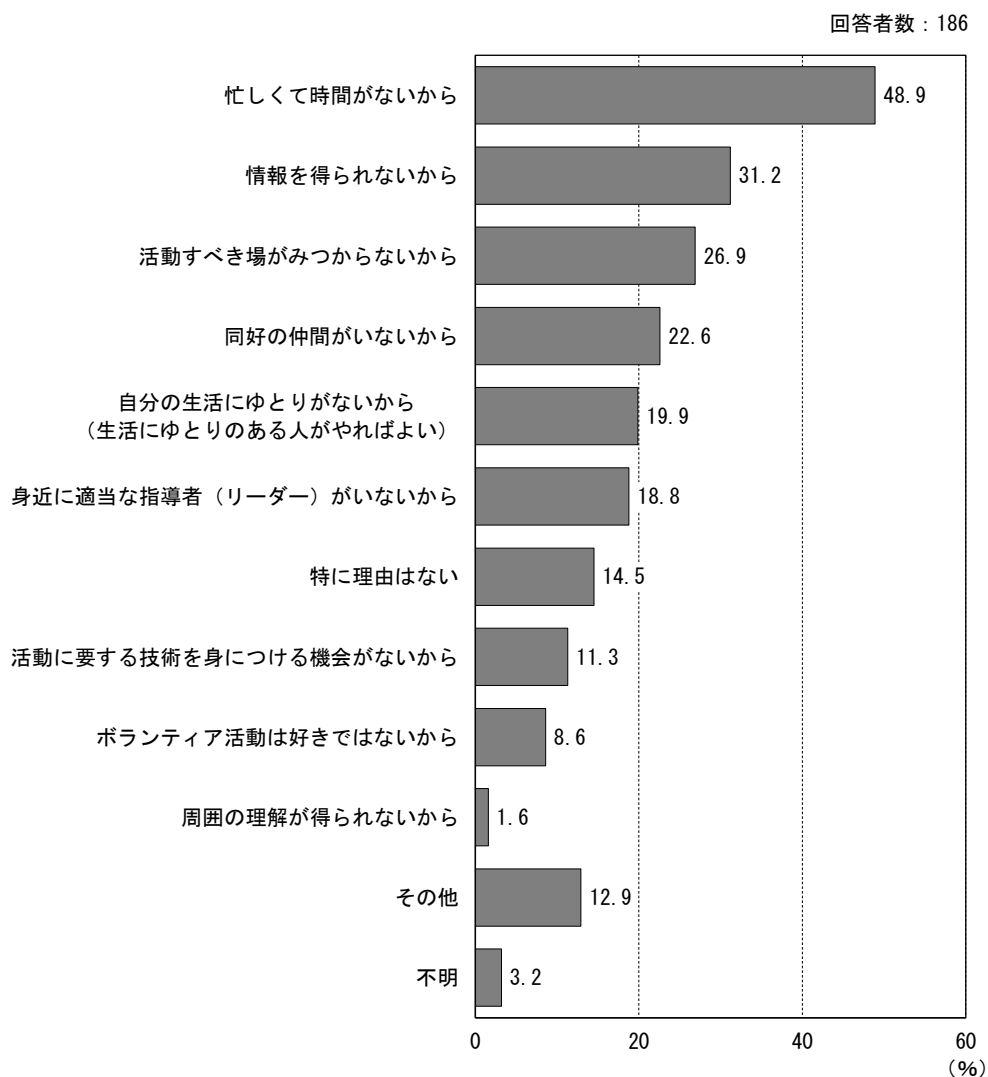
【問 2 で「③現在も過去もない」と答えた方にお聞きします。】

今までにボランティア活動をしたことがない理由は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「忙しくて時間がないから」が 48.9%と最も多くなっています。次いで、「情報を得られないから」(31.2%)、「活動すべき場が見つからないから」(26.9%) などとなっています。

図表 3-22 今までにボランティア活動をしたことがない理由



【その他回答 (抜粋)】

自由記述	性別	年代	エリア
自分の時間を割いてまでボランティア活動に参加しようと思えないから。	男性	20 歳代	南部
報酬を得る, 与える必要があると考えるため。	女性	30 歳代	東部
やってみたい気持ちはあるが, 家庭の事 (子供) が優先となり, 時間があつたとしてもボランティアが出来る体力が無い。	男性	40 歳代	中部
経験者から活動に参加している人同士の間関係がむずかしくて辞めたという話をよく聞くから	女性	60 歳代	中部
年齢が高い為	女性	70 歳以上	中部

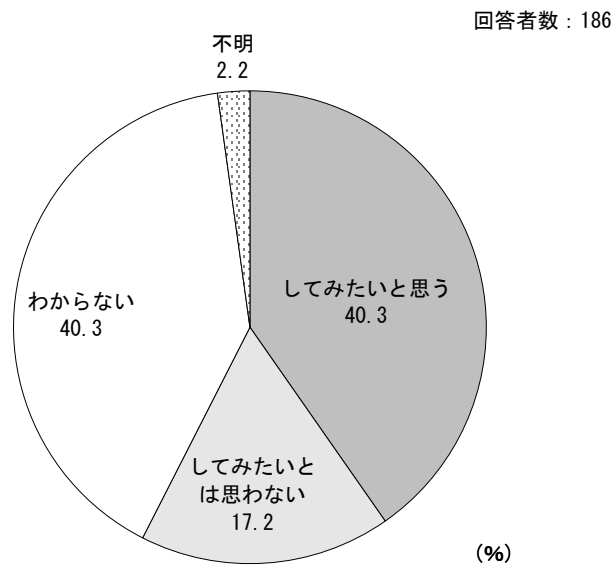
問 14

【問 2 で「③現在も過去もない」と答えた方にお聞きします。】
今後、機会があればボランティア活動をしてみようと思いませんか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

「してみたいと思う」(40.3%)と「わからない」(40.3%)が高くなっています。

図表 3-23 今後、はじめてのボランティア活動始める意向



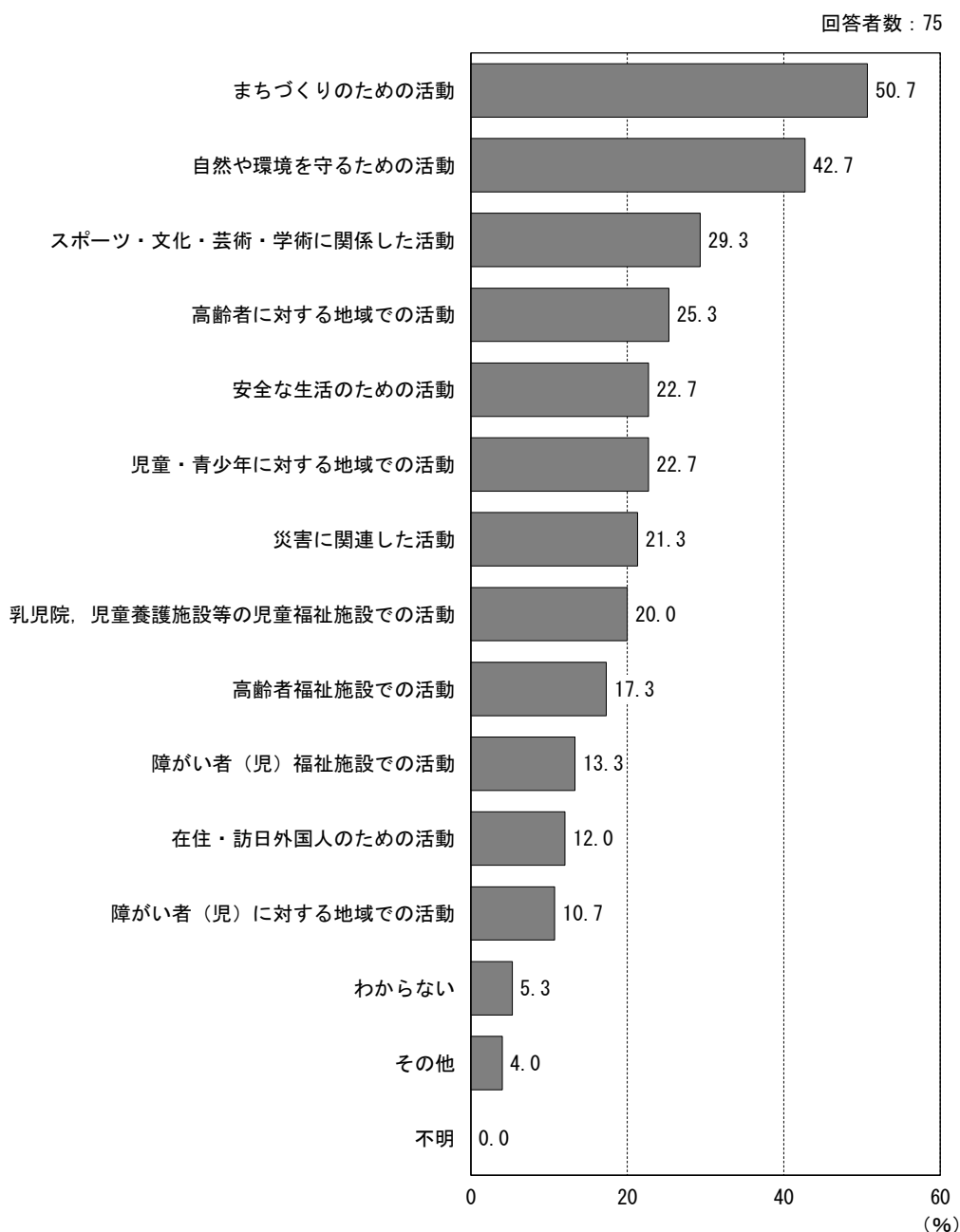
問 15

【問 14 で「①してみたいと思う」と答えた方にお聞きします。】
 それはどのようなボランティア活動ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

「まちづくりのための活動」が 50.7%と最も多く、次いで、「自然や環境を守るための活動」(42.7%) などとなっています。

図表 3-24 今後、はじめてのボランティア活動でしてみたいと思う活動内容



【その他回答(抜粋)】

自由記述	性別	年代	エリア
犬・猫の保護・里親探しはしている(個人で)。なので、その関連のボランティアをしたい。	女性	50歳代	神辺

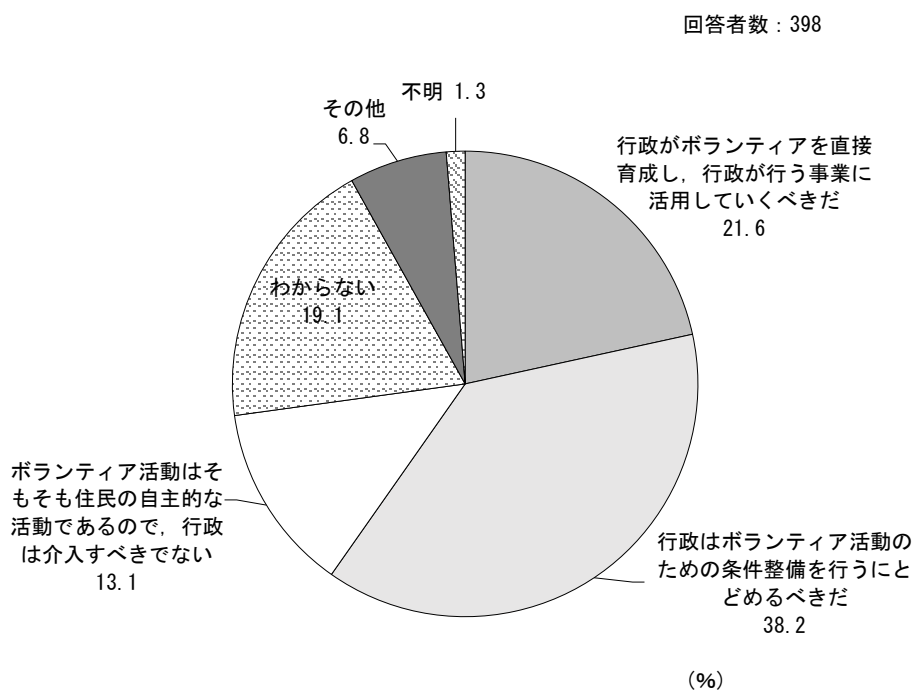
問 16

ボランティア活動を広めていく上で、行政と住民とのかかわりについてあなたはどのようなお考えをお持ちですか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「行政はボランティア活動のための条件整備を行うにとどめるべきだ」が 38.2%と最も多くなっています。次いで、「行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ」(21.6%)、「わからない」(19.1%) となっています。

図表 3-25 ボランティア活動を広めていく上で、行政と住民とのかかわりについての見解



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
ボランティアの方々がしてくれているから行政がしなくていいという事はないと思う。目的が同じ事があるなら、行政も積極的に関わりながら、行政ができる事を援助したらいいと思う。	女性	20 歳代	神辺
行政がどんなボランティアを必要としているのかが伝わって来ないのでまずしっかり必要な事を広報してそれについてどのくらいの応募や反響があったのかを知らせて欲しい。	男性	30 歳代	中部
ボランティアの内容によって課題や行政支援と共に報酬についても行政も考慮する事が必要と思う。	男性	40 歳代	中部
ボランティアに頼るべきではない。あくまでも補助的なもの。来てくれた場合の対処だけ決めておくことが必要。	女性	50 歳代	中部
金銭面での必要経費の補助がないと長続きしない。人件費とか日当とかではなく、道具、資材などの提供が必要だ。	女性	60 歳代	神辺
行政はボランティア活動を行う人たちの意見を聞く機会を作る必要があります。	男性	70 歳以上	中部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「行政はボランティア活動のための条件整備を行うにとどめるべきだ」が高く、『女性』では「わからない」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「わからない」が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ	21.6	20.0	23.6	0.0	25.7	21.5	11.1
行政はボランティア活動のための条件整備を行うにとどめるべきだ	38.2	43.8	32.2	80.0	37.6	38.7	36.1
ボランティア活動はそもそも住民の自主的な活動であるので、行政は介入すべきでない	13.1	14.6	12.0	0.0	15.8	11.5	16.7
わからない	19.1	13.5	24.5	0.0	12.9	21.1	22.2
その他	6.8	8.1	5.8	0.0	7.9	5.7	11.1
不明	1.3	0.0	1.9	20.0	0.0	1.5	2.8

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』で「ボランティア活動はそもそも住民の自主的な活動であるので、行政は介入すべきでない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ	21.6	12.5	13.9	16.1	27.8	27.4	25.0	17.9
行政はボランティア活動のための条件整備を行うにとどめるべきだ	38.2	43.8	38.9	41.9	41.7	32.3	31.9	41.0
ボランティア活動はそもそも住民の自主的な活動であるので、行政は介入すべきでない	13.1	25.0	19.4	11.3	9.7	12.9	13.9	11.5
わからない	19.1	18.8	22.2	22.6	11.1	19.4	19.4	21.8
その他	6.8	0.0	5.6	8.1	8.3	8.1	6.9	5.1
不明	1.3	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.8	2.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「ボランティア活動はそもそも住民の自主的な活動であるので、行政は介入すべきでない」が高く、『松永』では「行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ」が高く、『神辺』では「わからない」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ	21.6	25.0	10.3	36.8	14.5	16.7	30.8	15.0	0.0
行政はボランティア活動のための条件整備を行うにとどめるべきだ	38.2	39.9	34.5	36.8	37.1	45.0	28.2	30.0	100.0
ボランティア活動はそもそも住民の自主的な活動であるので、行政は介入すべきでない	13.1	10.1	31.0	10.5	12.9	20.0	2.6	15.0	0.0
わからない	19.1	17.9	17.2	15.8	24.2	10.0	33.3	20.0	0.0
その他	6.8	6.5	0.0	0.0	11.3	5.0	5.1	20.0	0.0
不明	1.3	0.6	6.9	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』で「行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ	21.6	22.0	25.5	35.5	21.6	12.0	16.9
行政はボランティア活動のための条件整備を行うにとどめるべきだ	38.2	40.2	44.7	41.9	32.4	40.0	34.8
ボランティア活動はそもそも住民の自主的な活動であるので、行政は介入すべきでない	13.1	14.4	8.5	6.5	16.2	20.0	11.2
わからない	19.1	14.4	17.0	9.7	23.0	28.0	24.7
その他	6.8	8.3	2.1	6.5	5.4	0.0	10.1
不明	1.3	0.8	2.1	0.0	1.4	0.0	2.2

問 17

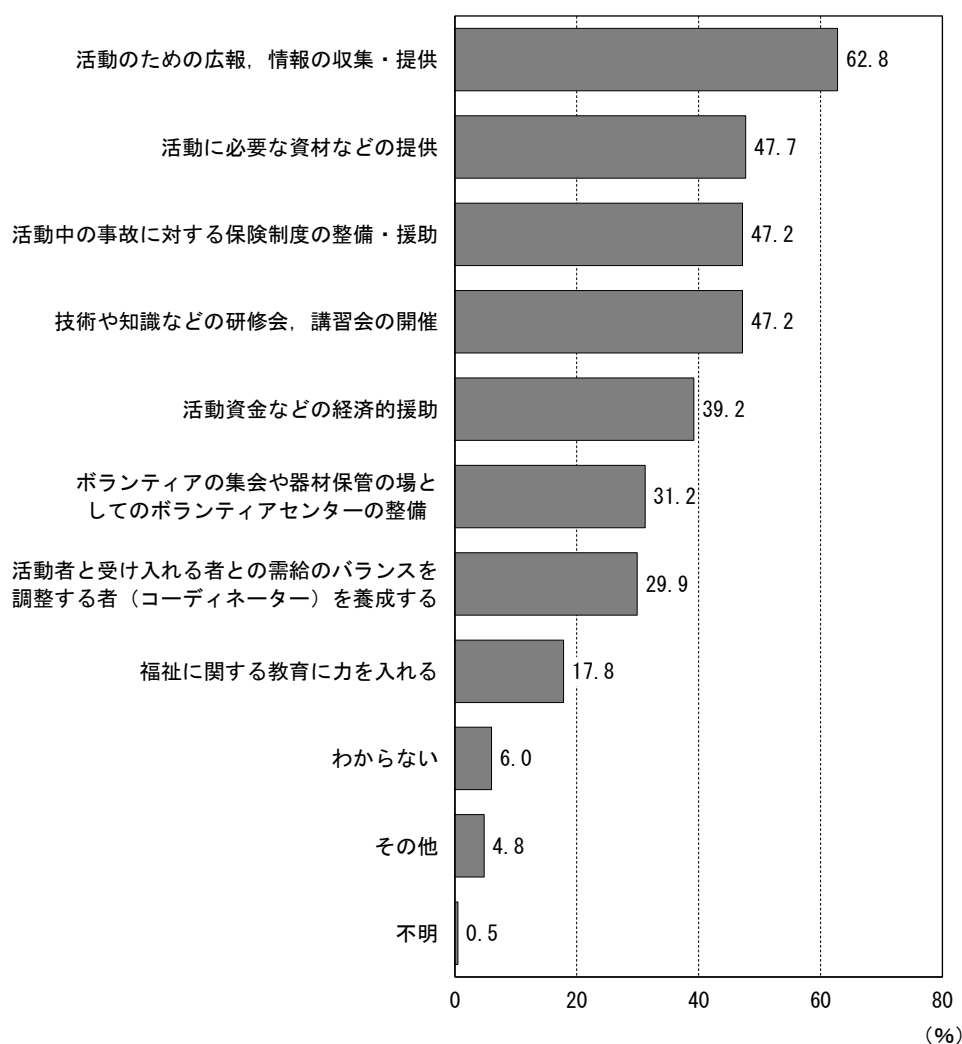
国や県，市区町村などの行政機関がボランティア活動を支援するとしたらどのようなことをしたらよいと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「活動のための広報，情報の収集・提供」が 62.8%と最も多くなっています。次いで、「活動に必要な資材などの提供」(47.7%)，「活動中の事故に対する保険制度の整備・援助」「技術や知識などの研修会，講習会の開催」(47.2%) などとなっています。

図表 3-26 行政機関に望むボランティア活動への支援

回答者数：398



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
子供の頃からボランティアが身近に接する機がある環境にしていく	男性	30 歳代	北部
ボランティアにこだわらず，仕事にしまえばよいのでは？	女性	40 歳代	神辺
ボランティアは勝手に物資を送ってきたり，撮影したり，本人が来たりするので，ボランティアが活動しやすいように，公的機関が何を助けるのか，何をしないのか，禁止事項があるのか，など決めておいてほしい。	女性	50 歳代	中部
中心となるような指導者の育成	女性	60 歳代	神辺

【属性別】

性別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「活動のための広報、情報の収集・提供」「活動者と受け入れる者との需給のバランスを調整する者（コーディネーター）を養成する」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
活動のための広報、情報の収集・提供	62.8	64.3	60.6	100.0	73.3	59.0	61.1
技術や知識などの研修会、講習会の開催	47.2	47.6	47.1	40.0	46.5	49.4	33.3
活動中の事故に対する保険制度の整備・援助	47.2	44.9	48.1	100.0	47.5	48.3	38.9
ボランティアの集いや器材保管の場としてのボランティアセンターの整備	31.2	32.4	30.3	20.0	33.7	30.7	27.8
活動に必要な資材などの提供	47.7	51.4	44.7	40.0	50.5	47.1	44.4
活動資金などの経済的援助	39.2	38.4	39.4	60.0	42.6	37.5	41.7
福祉に関する教育に力を入れる	17.8	17.8	17.8	20.0	22.8	14.6	27.8
活動者と受け入れる者との需給のバランスを調整する者（コーディネーター）を養成する	29.9	30.8	29.8	0.0	36.6	27.2	30.6
わからない	6.0	5.9	6.3	0.0	3.0	6.5	11.1
その他	4.8	5.9	3.8	0.0	3.0	5.4	5.6
不明	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.8	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「活動資金などの経済的援助」が高く、『30歳代』では「活動資金などの経済的援助」「福祉に関する教育に力を入れる」が高く、『40歳代』では「活動のための広報、情報の収集・提供」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
活動のための広報、情報の収集・提供	62.8	56.3	61.1	67.7	75.0	51.6	56.9	64.1
技術や知識などの研修会、講習会の開催	47.2	18.8	41.7	43.5	45.8	50.0	51.4	53.8
活動中の事故に対する保険制度の整備・援助	47.2	25.0	41.7	46.8	43.1	41.9	55.6	55.1
ボランティアの集会や器材保管の場としてのボランティアセンターの整備	31.2	25.0	30.6	40.3	27.8	30.6	25.0	34.6
活動に必要な資材などの提供	47.7	43.8	41.7	51.6	41.7	48.4	47.2	53.8
活動資金などの経済的援助	39.2	56.3	25.0	50.0	40.3	32.3	36.1	41.0
福祉に関する教育に力を入れる	17.8	6.3	11.1	29.0	13.9	16.1	13.9	23.1
活動者と受け入れる者との需給のバランスを調整する者（コーディネーター）を養成する	29.9	18.8	22.2	37.1	38.9	37.1	18.1	26.9
わからない	6.0	6.3	2.8	1.6	4.2	9.7	8.3	7.7
その他	4.8	0.0	0.0	3.2	9.7	3.2	8.3	2.6
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「活動中の事故に対する保険制度の整備・援助」「活動に必要な資材などの提供」が高く、『松永』では「技術や知識などの研修会、講習会の開催」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
活動のための広報、情報の収集・提供	62.8	69.6	65.5	36.8	58.1	55.0	66.7	55.0	100.0
技術や知識などの研修会、講習会の開催	47.2	53.0	48.3	63.2	32.3	40.0	51.3	45.0	0.0
活動中の事故に対する保険制度の整備・援助	47.2	46.4	65.5	47.4	43.5	46.7	56.4	20.0	100.0
ボランティアの集会や器材保管の場としてのボランティアセンターの整備	31.2	31.5	27.6	31.6	29.0	36.7	30.8	25.0	0.0
活動に必要な資材などの提供	47.7	48.2	62.1	36.8	45.2	51.7	43.6	35.0	100.0
活動資金などの経済的援助	39.2	41.7	48.3	31.6	32.3	36.7	43.6	35.0	0.0
福祉に関する教育に力を入れる	17.8	20.8	17.2	10.5	19.4	13.3	17.9	10.0	0.0
活動者と受け入れる者との需給のバランスを調整する者（コーディネーター）を養成する	29.9	35.1	27.6	15.8	24.2	28.3	28.2	30.0	0.0
わからない	6.0	4.2	3.4	10.5	6.5	6.7	2.6	25.0	0.0
その他	4.8	3.6	0.0	0.0	4.8	6.7	7.7	15.0	0.0
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	2.6	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「技術や知識などの研修会，講習会の開催」が高く、『主夫・主婦』では「活動中の事故に対する保険制度の整備・援助」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用 労働者	非正規雇用 労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
活動のための広報，情報の収集・提供	62.8	63.6	61.7	64.5	58.1	64.0	65.2
技術や知識などの研修会，講習会の開催	47.2	48.5	42.6	58.1	54.1	24.0	44.9
活動中の事故に対する保険制度の整備・援助	47.2	39.4	53.2	35.5	60.8	32.0	52.8
ボランティアの集いや器材保管の場としてのボランティアセンターの整備	31.2	28.8	31.9	22.6	32.4	32.0	36.0
活動に必要な資材などの提供	47.7	43.2	44.7	51.6	47.3	52.0	53.9
活動資金などの経済的援助	39.2	39.4	25.5	48.4	45.9	36.0	38.2
福祉に関する教育に力を入れる	17.8	15.9	10.6	9.7	24.3	8.0	24.7
活動者と受け入れる者との需給のバランスを調整する者（コーディネーター）を養成する	29.9	34.1	25.5	25.8	29.7	24.0	29.2
わからない	6.0	4.5	2.1	6.5	5.4	4.0	11.2
その他	4.8	2.3	2.1	12.9	6.8	0.0	6.7
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.1

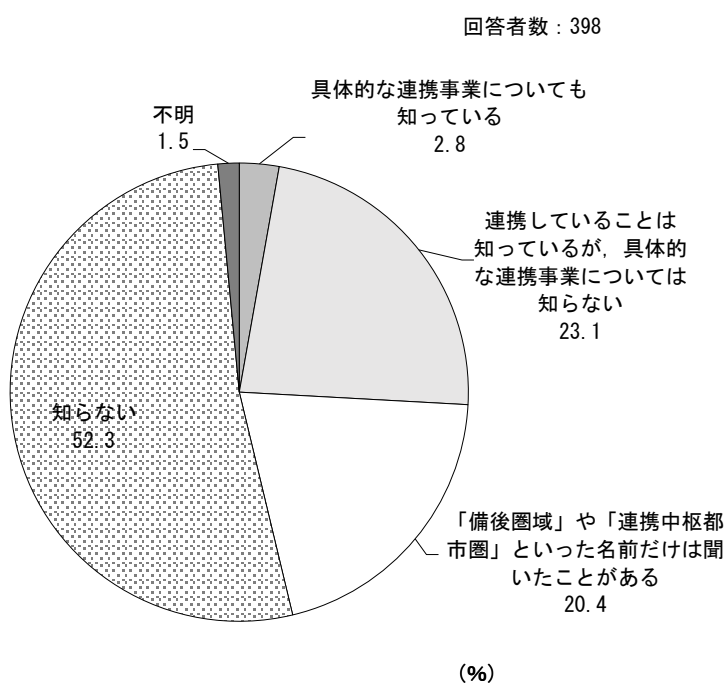
(3) 備後圏域連携中枢都市圏構想について

問1 広島県・岡山県内の6市2町で、「備後圏域連携中枢都市圏」を形成し、様々な連携事業を実施していることを知っていますか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「知らない」が52.3%と過半数を占めています。次いで、「連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない」(23.1%)、「備後圏域」や「連携中枢都市圏」といった名前だけは聞いたことがある」(20.4%)となっています。

図表 3-27 「備後圏域連携中枢都市圏」を形成し、様々な連携事業を実施していることについて



【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない」が高く、『女性』では「知らない」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「知らない」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
具体的な連携事業についても知っている	2.8	5.4	0.5	0.0	3.0	2.7	2.8
連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない	23.1	29.2	17.8	20.0	13.9	26.4	25.0
「備後圏域」や「連携中枢都市圏」といった名前だけは聞いたことがある	20.4	20.0	19.7	60.0	20.8	20.3	19.4
知らない	52.3	43.2	61.1	20.0	61.4	48.7	52.8
不明	1.5	2.2	1.0	0.0	1.0	1.9	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』『20歳代』では「知らない」が高く、『60歳代』『70歳以上』では「連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
具体的な連携事業についても知っている	2.8	0.0	2.8	1.6	1.4	4.8	1.4	5.1
連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない	23.1	6.3	13.9	16.1	12.5	22.6	34.7	35.9
「備後圏域」や「連携中枢都市圏」といった名前だけは聞いたことがある	20.4	12.5	19.4	24.2	27.8	17.7	18.1	16.7
知らない	52.3	81.3	63.9	58.1	58.3	53.2	45.8	35.9
不明	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	6.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』で「連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない」が低くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
具体的な連携事業についても知っている	2.8	4.2	6.9	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない	23.1	24.4	10.3	26.3	24.2	30.0	23.1	5.0	0.0
「備後圏域」や「連携中枢都市圏」といった名前だけは聞いたことがある	20.4	22.0	24.1	21.1	14.5	15.0	23.1	25.0	100.0
知らない	52.3	48.8	55.2	52.6	59.7	48.3	51.3	70.0	0.0
不明	1.5	0.6	3.4	0.0	1.6	3.3	2.6	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『学生』で「知らない」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
具体的な連携事業についても知っている	2.8	3.0	2.1	6.5	0.0	0.0	4.5
連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない	23.1	17.4	21.3	32.3	29.7	8.0	28.1
「備後圏域」や「連携中枢都市圏」といった名前だけは聞いたことがある	20.4	25.0	17.0	22.6	10.8	16.0	23.6
知らない	52.3	54.5	59.6	32.3	58.1	76.0	40.4
不明	1.5	0.0	0.0	6.5	1.4	0.0	3.4

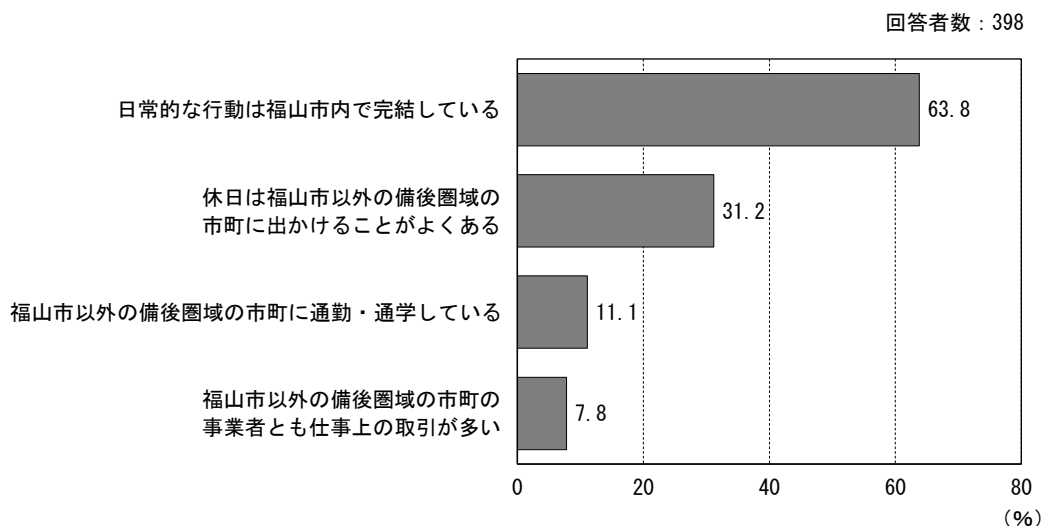
問 2

日常的な行動範囲について、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「日常的な行動は福山市内で完結している」が 63.8%と顕著に多くなっています。次いで、「休日は福山市以外の備後圏域の市町に出かけることがよくある」(31.2%) などとなっています。

図表 3-28 日常的な行動範囲



【属性別】

性別と子育て世帯別では、回答者全体と比較して大きな差はありません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
福山市以外の備後圏域の市町に通勤・通学している	11.1	12.4	10.1	0.0	11.9	11.5	5.6
休日は福山市以外の備後圏域の市町に出かけることがよくある	31.2	28.1	34.1	20.0	34.7	31.4	19.4
福山市以外の備後圏域の市町の事業者とも仕事上の取引が多い	7.8	11.4	4.8	0.0	10.9	7.3	2.8
日常的な行動は福山市内で完結している	63.8	62.2	64.4	100.0	59.4	63.2	80.6
不明	1.5	1.1	1.9	0.0	0.0	2.3	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』『20歳代』では「福山市以外の備後圏域の市町に通勤・通学している」が高く、『30歳代』『70歳以上』では「日常的な行動は福山市内で完結している」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
福山市以外の備後圏域の市町に通勤・通学している	11.1	31.3	25.0	4.8	18.1	12.9	5.6	2.6
休日は福山市以外の備後圏域の市町に出かけることがよくある	31.2	37.5	38.9	22.6	36.1	27.4	30.6	32.1
福山市以外の備後圏域の市町の事業者とも仕事上の取引が多い	7.8	0.0	5.6	4.8	15.3	8.1	11.1	2.6
日常的な行動は福山市内で完結している	63.8	43.8	52.8	75.8	50.0	59.7	68.1	75.6
不明	1.5	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	6.4

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『東部』『神辺』で「休日は福山市以外の備後圏域の市町に出かけることがよくある」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
福山市以外の備後圏域の市町に通勤・通学している	11.1	12.5	17.2	10.5	6.5	11.7	5.1	15.0	0.0
休日は福山市以外の備後圏域の市町に出かけることがよくある	31.2	25.6	34.5	31.6	25.8	43.3	51.3	15.0	0.0
福山市以外の備後圏域の市町の事業者とも仕事上の取引が多い	7.8	9.5	0.0	5.3	8.1	10.0	5.1	5.0	0.0
日常的な行動は福山市内で完結している	63.8	66.7	72.4	63.2	71.0	50.0	48.7	75.0	100.0
不明	1.5	1.8	0.0	0.0	0.0	3.3	2.6	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「福山市以外の備後圏域の市町の事業者とも仕事上の取引が多い」が高く、『主夫・主婦』『その他』では「日常的な行動は福山市内で完結している」が高く、『学生』では「福山市以外の備後圏域の市町に通勤・通学している」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
福山市以外の備後圏域の市町に通勤・通学している	11.1	17.4	4.3	3.2	5.4	32.0	6.7
休日は福山市以外の備後圏域の市町に出かけることがよくある	31.2	29.5	31.9	38.7	39.2	32.0	23.6
福山市以外の備後圏域の市町の事業者とも仕事上の取引が多い	7.8	13.6	4.3	29.0	2.7	0.0	0.0
日常的な行動は福山市内で完結している	63.8	55.3	63.8	51.6	74.3	52.0	75.3
不明	1.5	0.0	2.1	0.0	2.7	0.0	3.4

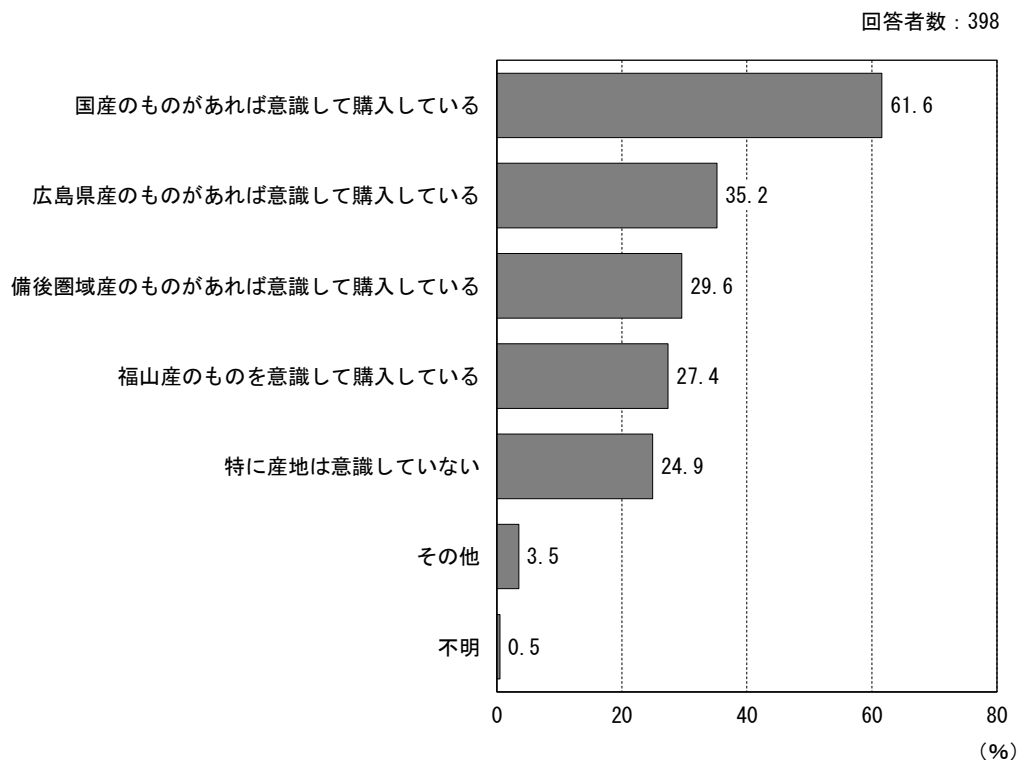
問3

日常的な消費行動について、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

【回答者全体】

回答者全体では、「国産のものがあれば意識して購入している」が61.6%と顕著に多くなっています。次いで、「広島県産のものがあれば意識して購入している」（35.2%）などとなっています。

図表 3-29 日常的な消費行動



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
中国産のものは意識して購入しないようにしている。	女性	40歳代	東部
野菜は基本産直のものを購入するようにしています。魚もできるだけ近海のものを買っています。	女性	40歳代	東部
知人の生産した物であれば購入する	男性	60歳代	北部
外国産はほとんど購入しない	女性	70歳以上	神辺

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』では「特に産地は意識していない」が高く、『女性』では「国産のものがあれば意識して購入している」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「特に産地は意識していない」が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
福山産のものを意識して購入している	27.4	24.3	30.3	20.0	23.8	29.1	25.0
備後圏域産のものがあれば意識して購入している	29.6	29.2	30.3	20.0	24.8	32.6	22.2
広島県産のものがあれば意識して購入している	35.2	31.4	38.9	20.0	39.6	33.7	33.3
国産のものがあれば意識して購入している	61.6	50.8	71.2	60.0	65.3	60.2	61.1
特に産地は意識していない	24.9	31.9	18.3	40.0	19.8	26.4	27.8
その他	3.5	3.8	3.4	0.0	2.0	4.2	2.8
不明	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.8	0.0

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「特に産地は意識していない」が高く、『30歳代』では「国産のものがあれば意識して購入している」が高く、『70歳以上』では「福山産のものを意識して購入している」「備後圏域産のものがあれば意識して購入している」「広島県産のものがあれば意識して購入している」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
福山産のものを意識して購入している	27.4	6.3	11.1	14.5	27.8	29.0	27.8	47.4
備後圏域産のものがあれば意識して購入している	29.6	12.5	16.7	21.0	27.8	37.1	26.4	44.9
広島県産のものがあれば意識して購入している	35.2	12.5	22.2	33.9	36.1	37.1	31.9	47.4
国産のものがあれば意識して購入している	61.6	56.3	66.7	72.6	56.9	61.3	63.9	53.8
特に産地は意識していない	24.9	43.8	22.2	21.0	26.4	25.8	26.4	21.8
その他	3.5	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	4.2	7.7
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『南部』では「国産のものがあれば意識して購入している」が高く、『松永』では「広島県産のものがあれば意識して購入している」が高く、『東部』では「福山産のものを意識して購入している」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
福山産のものを意識して購入している	27.4	23.8	31.0	36.8	27.4	40.0	25.6	10.0	0.0
備後圏域産のものがあれば意識して購入している	29.6	24.4	37.9	26.3	35.5	38.3	33.3	15.0	0.0
広島県産のものがあれば意識して購入している	35.2	33.9	37.9	47.4	38.7	38.3	30.8	15.0	100.0
国産のものがあれば意識して購入している	61.6	58.9	72.4	57.9	61.3	65.0	69.2	45.0	100.0
特に産地は意識していない	24.9	23.8	17.2	26.3	27.4	23.3	20.5	50.0	0.0
その他	3.5	2.4	3.4	10.5	4.8	5.0	2.6	0.0	0.0
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	2.6	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『非正規雇用労働者』では「国産のものがあれば意識して購入している」が高く、『自営業』では「福山産のものを意識して購入している」が高く、『主夫・主婦』では「福山産のものを意識して購入している」「広島県産のものがあれば意識して購入している」「国産のものがあれば意識して購入している」が高くなっています。

	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
福山産のものを意識して購入している	27.4	20.5	23.4	38.7	41.9	8.0	29.2
備後圏域産のものがあれば意識して購入している	29.6	26.5	25.5	35.5	39.2	16.0	30.3
広島県産のものがあれば意識して購入している	35.2	29.5	44.7	38.7	47.3	16.0	32.6
国産のものがあれば意識して購入している	61.6	58.3	83.0	48.4	71.6	64.0	50.6
特に産地は意識していない	24.9	26.5	14.9	19.4	17.6	28.0	34.8
その他	3.5	3.0	2.1	3.2	6.8	0.0	3.4
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.1

問 4

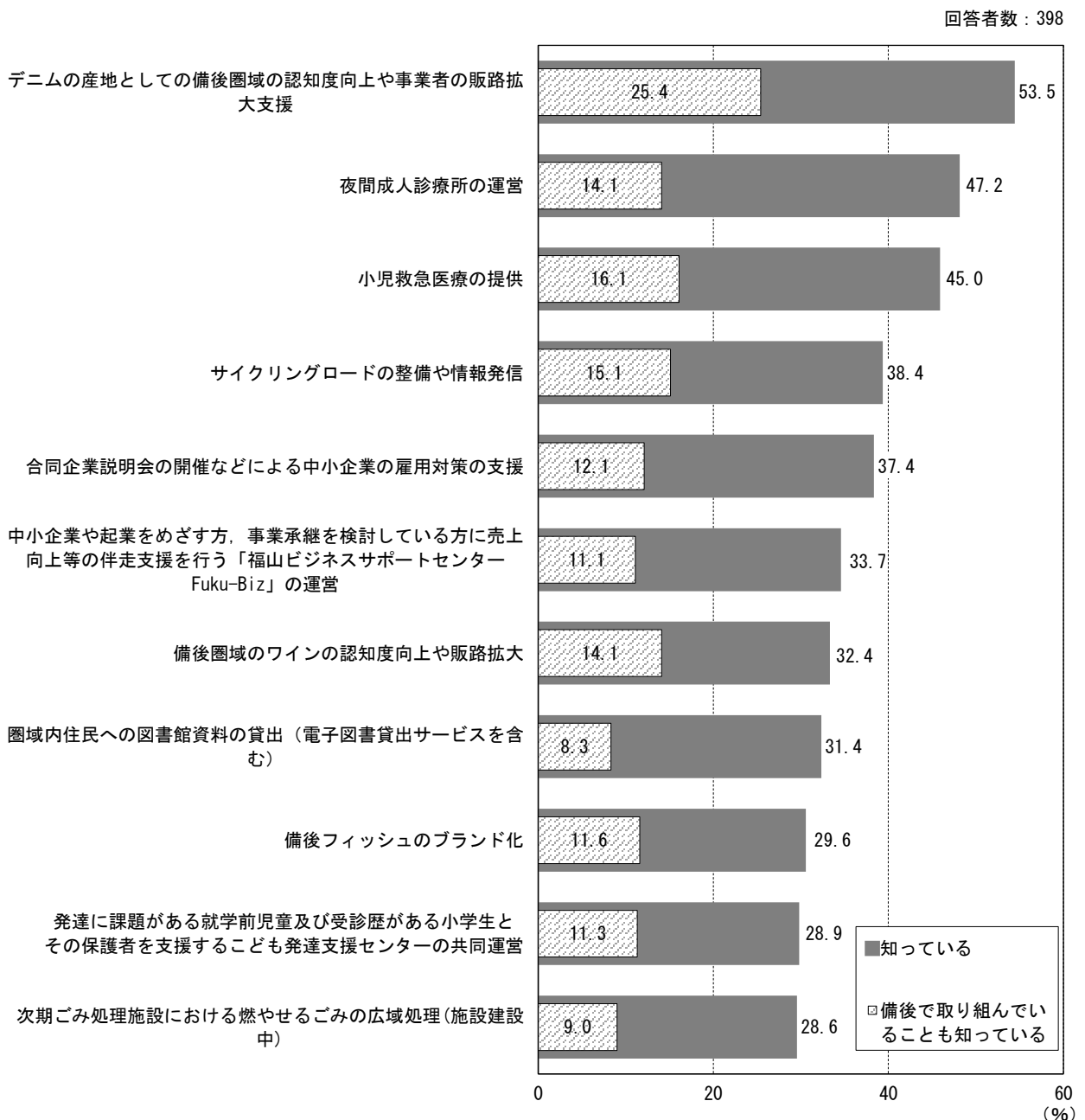
現在、本市が備後圏域の市町と連携して行っている事業を知っていますか。次の中から当てはまる事業全てについて「事業を知っている」又は「備後で取り組んでいることも知っている」のいずれかに「○」を記入してください。【単数回答】

【回答者全体】

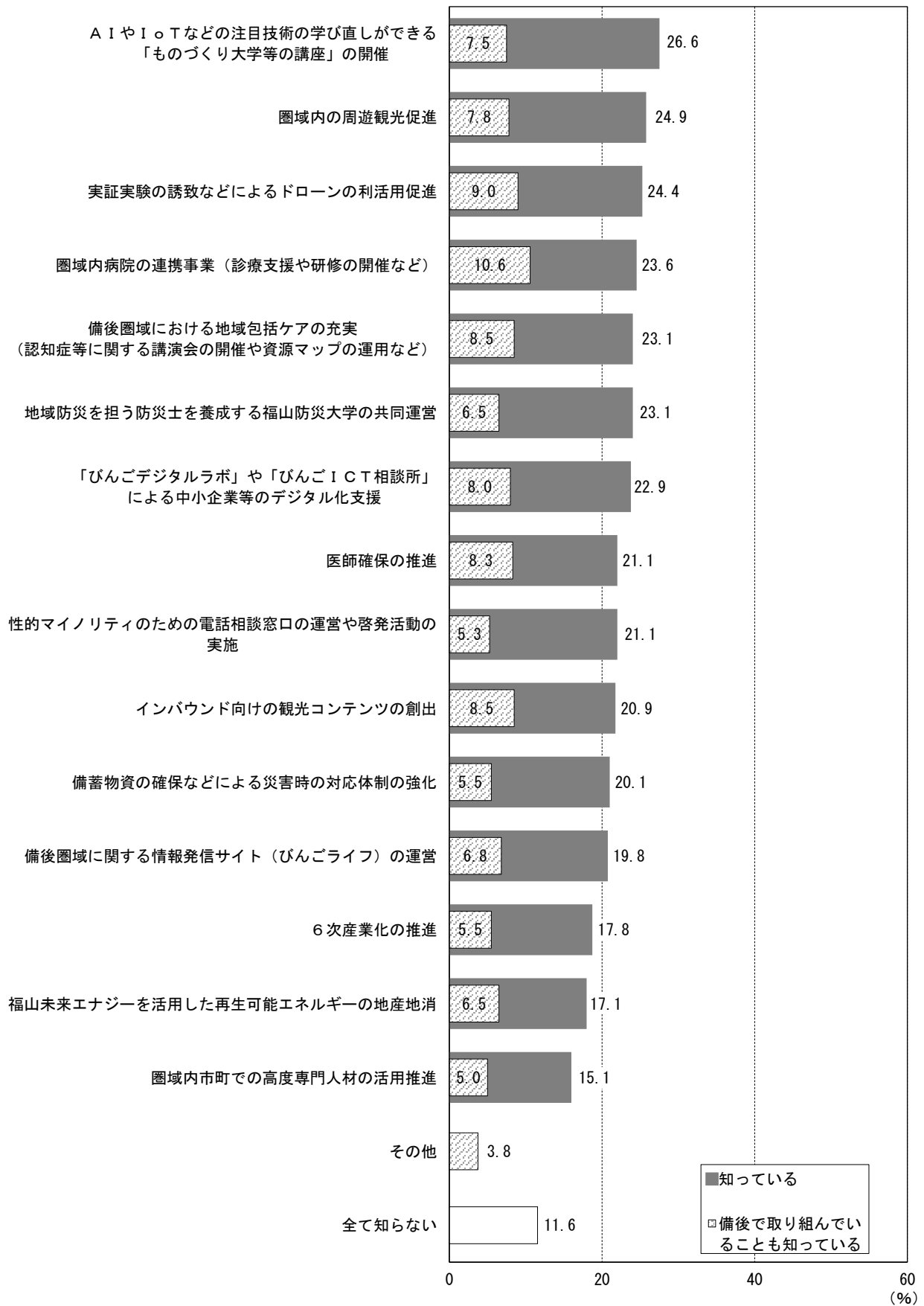
知っている（「事業を知っている」と「備後で取り組んでいることも知っている」の合計）と回答された割合は、「デニムの産地としての備後圏域の認知度向上や事業者の販路拡大支援」が 53.5%と最も高くなっています。次いで、「夜間成人診療所の運営」（47.2%）、「小児救急医療の提供」（45.0%）などとなっています。

また、「備後で取り組んでいることも知っている」と回答された割合も、「デニムの産地としての備後圏域の認知度向上や事業者の販路拡大支援」が 25.4%と最も高くなっています。次いで、「小児救急医療の提供」（16.1%）、「サイクリングロードの整備や情報発信」（15.1%）などとなっています。

図表 3-30 福山市が備後圏域の市町と連携して行っている事業について



図表 3-30 福山市が備後圏域の市町と連携して行っている事業について（続き）



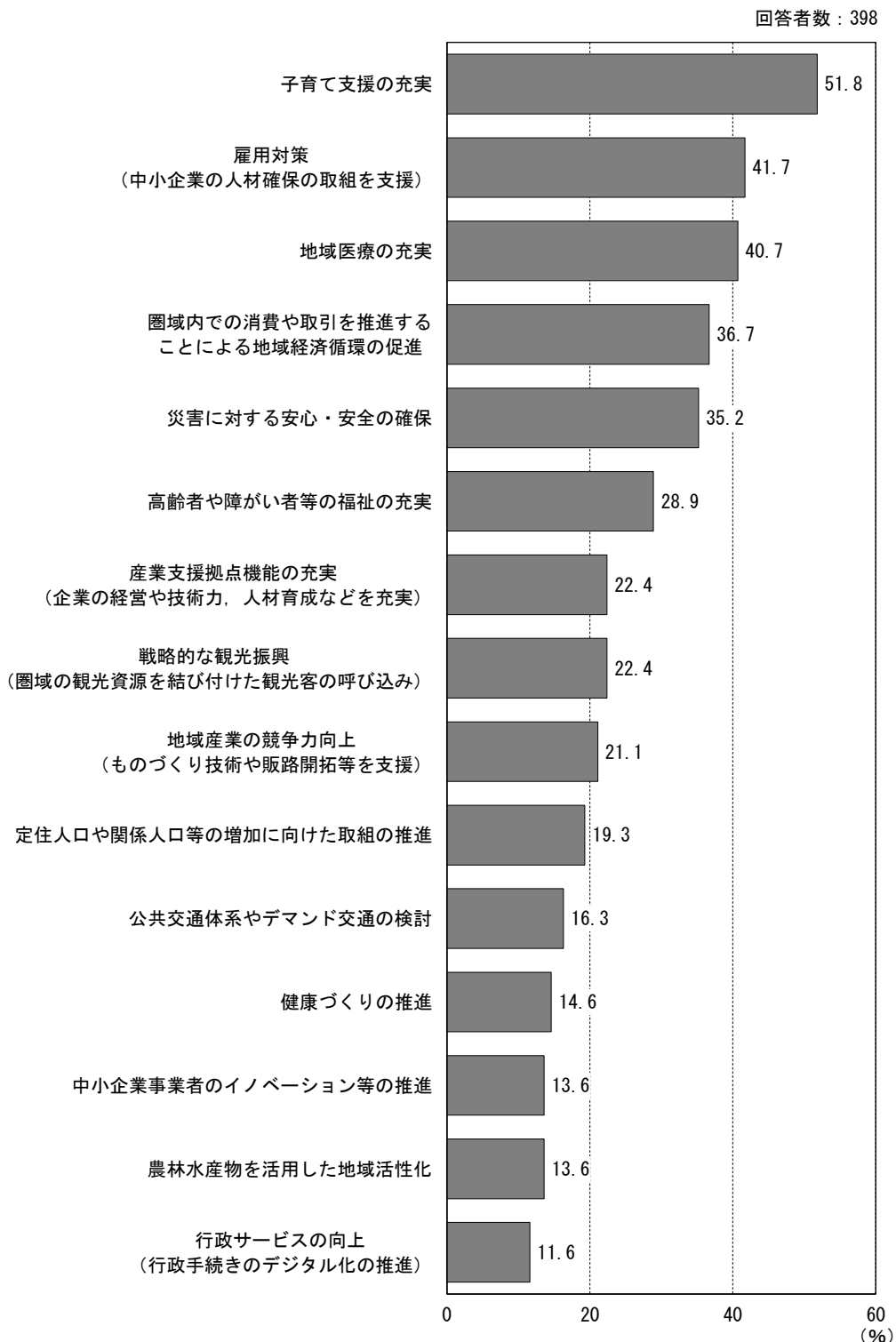
問 5

人口減少が進む中で、今後は、より効率的に行政サービスを提供する必要があります。そのため、備後圏域の市町が連携して事業に取り組むことは、更に重要となります。福山市と備後圏域の市町との連携は、特にどの分野において効果的だと感じますか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。【複数回答】

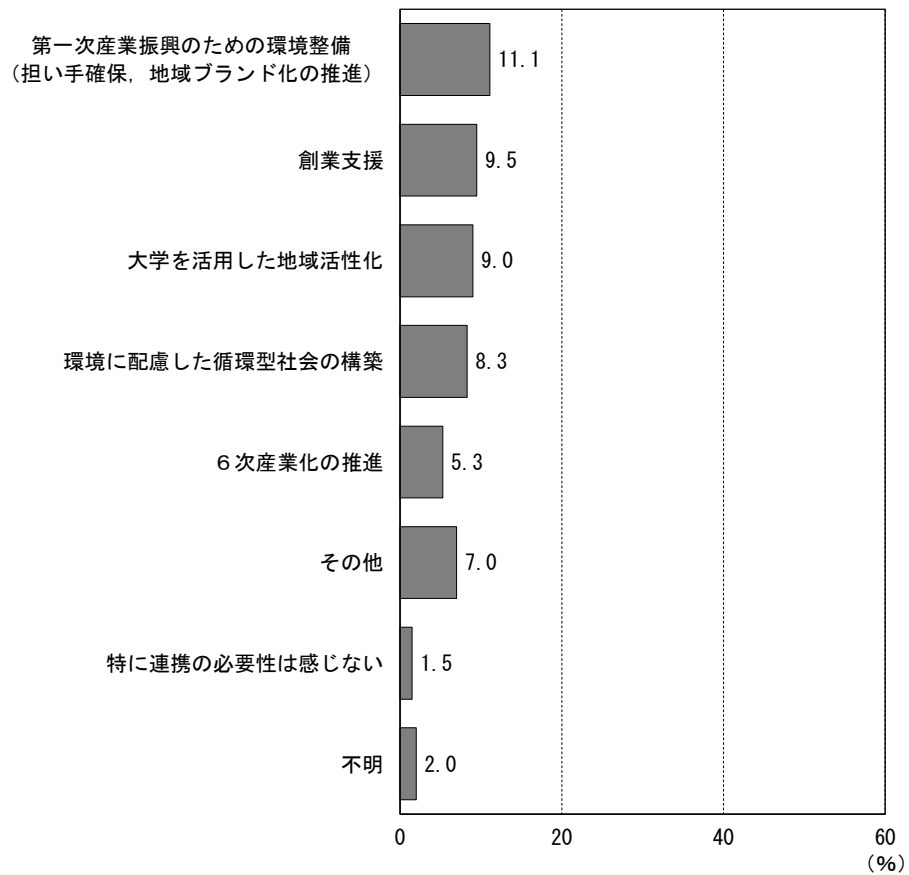
【回答者全体】

回答者全体では、「子育て支援の充実」が51.8%と最も多くなっています。次いで、「雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援）」（41.7%）、「地域医療の充実」（40.7%）などとなっています。

図表 3-31 福山市と備後圏域の市町との連携が、特に効果的だと感じる分野



図表 3-31 福山市と備後圏域の市町との連携が、特に効果的だと感じる分野（続き）



【その他回答（抜粋）】

自由記述	性別	年代	エリア
コロナ禍や物価高で、経済的に厳しい所があるので、そういったところへの補償があると嬉しい。今だけのことではありますが、近い将来で同じ状態に陥る可能性があるので、そういったときの対策があればいいと思う。	男性	30歳代	北部
過疎地域の活性化	女性	50歳代	中部
交通網の整備, 渋滞の解消, 道路工事の一元化(府中・新市間の朝晩の大渋滞)	男性	60歳代	北部

【属性別】

性別でみると、回答者全体と比較して、『男性』で「地域産業の競争力向上（ものづくり技術や販路開拓等を支援）」「定住人口や関係人口等の増加に向けた取組の推進」が高くなっています。

子育て世帯別でみると、回答者全体と比較して、『はい（子育て世帯）』で「子育て支援の充実」が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	398	185	208	5	101	261	36
圏域内での消費や取引を推進することによる地域経済循環の促進	36.7	38.9	35.1	20.0	25.7	41.4	33.3
産業支援拠点機能の充実（企業の経営や技術力、人材育成などを充実）	22.4	22.2	22.6	20.0	17.8	25.3	13.9
地域産業の競争力向上（ものづくり技術や販路開拓等を支援）	21.1	26.5	16.3	20.0	24.8	18.8	27.8
中小企業事業者のイノベーション等の推進	13.6	16.2	11.5	0.0	15.8	11.5	22.2
創業支援	9.5	12.4	7.2	0.0	8.9	9.2	13.9
雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援）	41.7	37.8	44.7	60.0	43.6	39.8	50.0
6次産業化の推進	5.3	6.5	4.3	0.0	6.9	4.2	8.3
第一次産業振興のための環境整備（担い手確保、地域ブランド化の推進）	11.1	9.2	12.0	40.0	14.9	8.4	19.4
戦略的な観光振興（圏域の観光資源を結び付けた観光客の呼び込み）	22.4	17.8	26.4	20.0	19.8	24.5	13.9
地域医療の充実	40.7	36.8	43.3	80.0	36.6	44.8	22.2
高齢者や障がい者等の福祉の充実	28.9	25.9	32.2	0.0	22.8	31.0	30.6
健康づくりの推進	14.6	15.7	13.9	0.0	9.9	18.0	2.8
子育て支援の充実	51.8	48.6	54.3	60.0	72.3	44.8	44.4
災害に対する安心・安全の確保	35.2	36.8	33.7	40.0	24.8	39.8	30.6
環境に配慮した循環型社会の構築	8.3	8.6	7.2	40.0	4.0	9.2	13.9
行政サービスの向上（行政手続きのデジタル化の推進）	11.6	11.9	11.1	20.0	10.9	13.0	2.8
定住人口や関係人口等の増加に向けた取組の推進	19.3	24.9	13.9	40.0	13.9	21.8	16.7
農林水産物を活用した地域活性化	13.6	11.9	14.4	40.0	10.9	14.2	16.7
公共交通体系やデマンド交通の検討	16.3	18.4	14.9	0.0	13.9	17.2	16.7
大学を活用した地域活性化	9.0	9.7	8.2	20.0	13.9	7.7	5.6
特に連携の必要性は感じない	1.5	1.6	1.4	0.0	1.0	1.9	0.0
その他	7.0	6.5	7.2	20.0	7.9	7.7	0.0
不明	2.0	1.6	2.4	0.0	0.0	1.9	8.3

年代別でみると、回答者全体と比較して、『10歳代』では「中小企業事業者のイノベーション等の推進」が高く、『20歳代』『30歳代』では「子育て支援の充実」が高く、『40歳代』では「地域産業の競争力向上（ものづくり技術や販路開拓等を支援）」が高くなっています。

	全体	年代						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	398	16	36	62	72	62	72	78
圏内での消費や取引を推進することによる地域経済循環の促進	36.7	37.5	25.0	33.9	36.1	37.1	40.3	41.0
産業支援拠点機能の充実（企業の経営や技術力、人材育成などを充実）	22.4	18.8	19.4	19.4	23.6	30.6	23.6	17.9
地域産業の競争力向上（ものづくり技術や販路開拓等を支援）	21.1	25.0	16.7	12.9	31.9	12.9	22.2	24.4
中小企業事業者のイノベーション等の推進	13.6	25.0	19.4	11.3	18.1	12.9	8.3	11.5
創業支援	9.5	12.5	16.7	6.5	9.7	8.1	5.6	12.8
雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援）	41.7	50.0	33.3	43.5	47.2	41.9	41.7	37.2
6次産業化の推進	5.3	12.5	11.1	1.6	5.6	6.5	2.8	5.1
第一次産業振興のための環境整備（担い手確保、地域ブランド化の推進）	11.1	6.3	11.1	8.1	13.9	3.2	12.5	16.7
戦略的な観光振興（圏内の観光資源を結び付けた観光客の呼び込み）	22.4	25.0	11.1	19.4	23.6	22.6	27.8	23.1
地域医療の充実	40.7	25.0	47.2	37.1	45.8	40.3	40.3	39.7
高齢者や障がい者等の福祉の充実	28.9	31.3	25.0	24.2	20.8	25.8	34.7	38.5
健康づくりの推進	14.6	12.5	5.6	19.4	5.6	14.5	18.1	20.5
子育て支援の充実	51.8	43.8	63.9	74.2	52.8	38.7	52.8	38.5
災害に対する安心・安全の確保	35.2	31.3	36.1	32.3	30.6	38.7	44.4	30.8
環境に配慮した循環型社会の構築	8.3	6.3	2.8	6.5	8.3	8.1	11.1	10.3
行政サービスの向上（行政手続きのデジタル化の推進）	11.6	6.3	8.3	17.7	8.3	11.3	9.7	14.1
定住人口や関係人口等の増加に向けた取組の推進	19.3	6.3	22.2	4.8	20.8	25.8	20.8	24.4
農林水産物を活用した地域活性化	13.6	12.5	13.9	4.8	12.5	16.1	13.9	19.2
公共交通体系やデマンド交通の検討	16.3	12.5	22.2	16.1	19.4	12.9	9.7	20.5
大学を活用した地域活性化	9.0	12.5	11.1	9.7	13.9	1.6	8.3	9.0
特に連携の必要性は感じない	1.5	0.0	0.0	1.6	2.8	0.0	1.4	2.6
その他	7.0	0.0	2.8	9.7	4.2	8.1	9.7	7.7
不明	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.4	7.7

エリア別でみると、回答者全体と比較して、『松永』では「雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援）」「6次産業化の推進」が高く、『東部』では「雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援）」「公共交通体系やデマンド交通の検討」が高くなっています。

	全体	エリア							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	398	168	29	19	62	60	39	20	1
圏内での消費や取引を推進することによる地域経済循環の促進	36.7	41.1	24.1	42.1	38.7	28.3	30.8	45.0	0.0
産業支援拠点機能の充実（企業の経営や技術力、人材育成などを充実）	22.4	20.8	13.8	21.1	29.0	23.3	20.5	30.0	0.0
地域産業の競争力向上（ものづくり技術や販路開拓等を支援）	21.1	23.8	10.3	26.3	14.5	20.0	25.6	25.0	0.0
中小企業事業者のイノベーション等の推進	13.6	14.3	13.8	21.1	17.7	13.3	5.1	5.0	0.0
創業支援	9.5	10.1	6.9	10.5	8.1	11.7	5.1	15.0	0.0
雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援）	41.7	36.9	37.9	63.2	46.8	53.3	35.9	30.0	0.0
6次産業化の推進	5.3	7.1	0.0	15.8	1.6	5.0	2.6	5.0	0.0
第一次産業振興のための環境整備（担い手確保、地域ブランド化の推進）	11.1	10.1	6.9	10.5	6.5	15.0	20.5	10.0	0.0
戦略的な観光振興（圏内の観光資源を結び付けた観光客の呼び込み）	22.4	25.6	24.1	21.1	16.1	18.3	25.6	20.0	0.0
地域医療の充実	40.7	43.5	27.6	31.6	41.9	45.0	38.5	30.0	100.0
高齢者や障がい者等の福祉の充実	28.9	29.2	27.6	21.1	33.9	35.0	20.5	15.0	100.0
健康づくりの推進	14.6	16.1	10.3	10.5	14.5	20.0	10.3	5.0	0.0
子育て支援の充実	51.8	45.8	58.6	52.6	58.1	53.3	53.8	65.0	0.0
災害に対する安心・安全の確保	35.2	33.9	20.7	31.6	38.7	43.3	38.5	25.0	100.0
環境に配慮した循環型社会の構築	8.3	8.3	10.3	10.5	4.8	8.3	7.7	15.0	0.0
行政サービスの向上（行政手続きのデジタル化の推進）	11.6	12.5	20.7	10.5	12.9	10.0	5.1	5.0	0.0
定住人口や関係人口等の増加に向けた取組の推進	19.3	18.5	20.7	10.5	21.0	21.7	15.4	25.0	100.0
農林水産物を活用した地域活性化	13.6	11.9	17.2	10.5	14.5	15.0	15.4	15.0	0.0
公共交通体系やデマンド交通の検討	16.3	14.3	20.7	0.0	12.9	30.0	5.1	30.0	100.0
大学を活用した地域活性化	9.0	11.3	10.3	10.5	4.8	10.0	7.7	0.0	0.0
特に連携の必要性は感じない	1.5	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	7.7	5.0	0.0
その他	7.0	8.3	6.9	0.0	9.7	5.0	7.7	0.0	0.0
不明	2.0	0.6	10.3	5.3	1.6	1.7	2.6	0.0	0.0

職業別でみると、回答者全体と比較して、『自営業』では「創業支援」「戦略的な観光振興（圏域の観光資源を結び付けた観光客の呼び込み）」が高く、『主夫・主婦』では「高齢者や障がい者等の福祉の充実」が高く、『学生』では「圏域内での消費や取引を推進することによる地域経済循環の促進」が高くなっています。

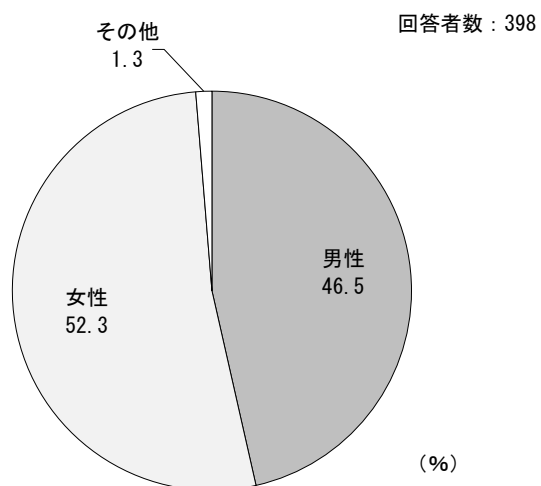
	全体	職業					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	398	132	47	31	74	25	89
圏域内での消費や取引を推進することによる地域経済循環の促進	36.7	36.4	31.9	45.2	41.9	52.0	28.1
産業支援拠点機能の充実（企業の経営や技術力、人材育成などを充実）	22.4	26.5	14.9	22.6	21.6	20.0	21.3
地域産業の競争力向上（ものづくり技術や販路開拓等を支援）	21.1	20.5	19.1	29.0	20.3	20.0	21.3
中小企業事業者のイノベーション等の推進	13.6	15.9	8.5	16.1	12.2	16.0	12.4
創業支援	9.5	10.6	6.4	22.6	6.8	12.0	6.7
雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援）	41.7	43.9	38.3	38.7	40.5	40.0	42.7
6次産業化の推進	5.3	3.0	6.4	6.5	4.1	12.0	6.7
第一次産業振興のための環境整備（担い手確保、地域ブランド化の推進）	11.1	4.5	12.8	9.7	18.9	4.0	15.7
戦略的な観光振興（圏域の観光資源を結び付けた観光客の呼び込み）	22.4	19.7	25.5	38.7	28.4	20.0	14.6
地域医療の充実	40.7	39.4	48.9	29.0	47.3	32.0	39.3
高齢者や障がい者等の福祉の充実	28.9	17.4	34.0	19.4	43.2	32.0	33.7
健康づくりの推進	14.6	12.9	10.6	16.1	17.6	12.0	16.9
子育て支援の充実	51.8	58.3	53.2	38.7	55.4	44.0	44.9
災害に対する安心・安全の確保	35.2	33.3	34.0	32.3	29.7	36.0	43.8
環境に配慮した循環型社会の構築	8.3	6.1	8.5	9.7	8.1	4.0	12.4
行政サービスの向上（行政手続きのデジタル化の推進）	11.6	14.4	4.3	16.1	12.2	8.0	10.1
定住人口や関係人口等の増加に向けた取組の推進	19.3	20.5	19.1	25.8	9.5	16.0	24.7
農林水産物を活用した地域活性化	13.6	9.8	12.8	16.1	18.9	8.0	15.7
公共交通体系やデマンド交通の検討	16.3	14.4	21.3	22.6	16.2	16.0	14.6
大学を活用した地域活性化	9.0	8.3	12.8	9.7	8.1	12.0	7.9
特に連携の必要性は感じない	1.5	0.0	2.1	0.0	1.4	0.0	4.5
その他	7.0	6.1	6.4	9.7	13.5	4.0	3.4
不明	2.0	0.0	4.3	0.0	2.7	0.0	4.5

(4) 回答者の属性

① 性別

「男性」が46.5%、「女性」が52.3%と、僅かに女性が多くなっています。

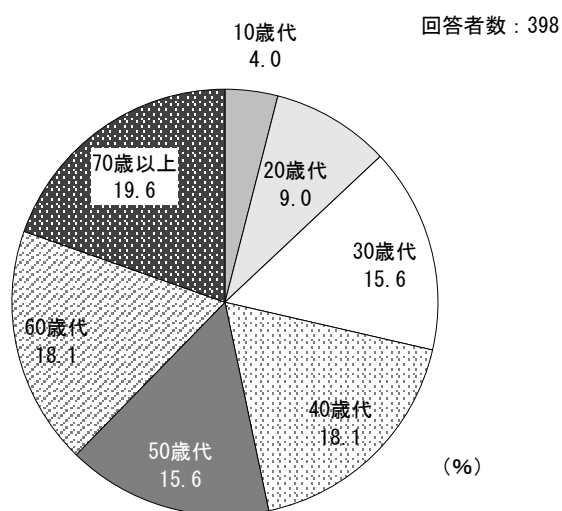
図表 3-33 性別



② 年代

「70歳以上」(19.6%)が最も多く、次いで「40歳代」「60歳代」(18.1%)となっています。

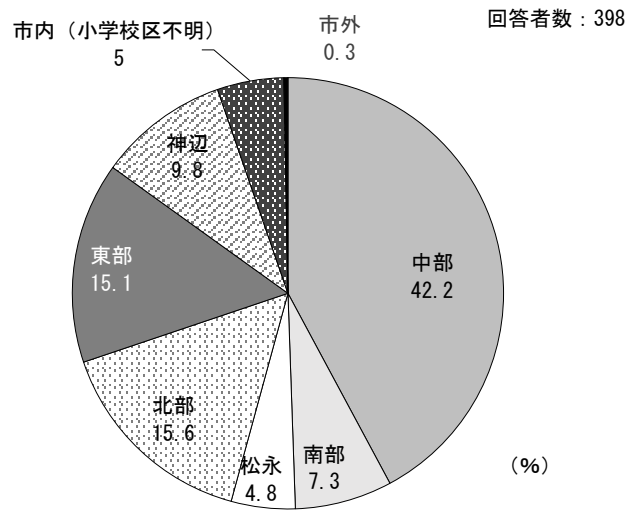
図表 3-34 年代



③ エリア

「中部」が最も多く、42.2%を占めています。次いで「北部」(15.6%)、「東部」(15.1%)となっています。

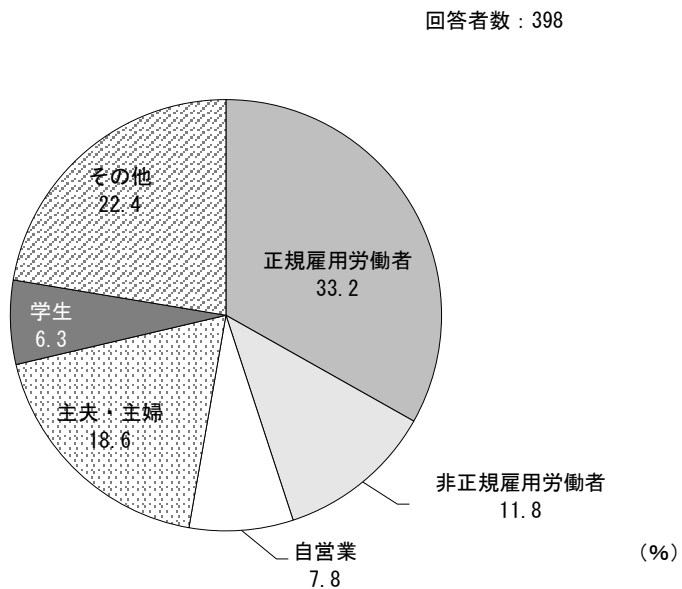
図表 3-35 エリア



④ 職業

「正規雇用労働者」(33.2%)が最も多く、次いで「その他」(22.4%)、「主夫・主婦」(18.6%)となっています。

図表 3-37 職業

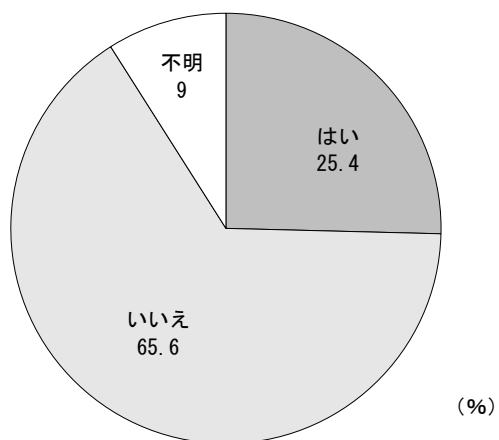


⑤ 子育て世帯

「いいえ」が65.6%を占め、子育て世帯ではない回答者が多くなっています。

図表 3-36 子育て世帯

回答者数 : 398



資料編 2022年度（令和4年度） 第4回 市政モニターアンケート調査票

【アンケートの趣旨】

今回のアンケートでは、「環境美化条例」，「ボランティア活動」，「備後圏域連携中枢都市圏構想」についてお伺いします。

モニターの皆様には以下の質問にご回答いただき、同封の返信用封筒にて送付いただきますようお願いいたします。**【2023年（令和5年）2月24日（金）必着】**

なお、アンケート結果の迅速な集計・分析のために、返信用封筒の宛先を委託業者（公益財団法人 中国地域創造研究センター）としております。

また、①アンケートの回答内容と②回答された方の名前や住所を除く情報（年代、性別、地域、職業等、子育て世帯該当・非該当）を同業者に提供しますが、回答された方が特定されない形で集計・分析し、結果を市ホームページなどで公表します。個人情報の取り扱いには十分留意しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【アンケート内容】

1 環境美化条例について

本市では、ポイ捨てや路上喫煙を防止することにより、美しく快適な生活環境の保全と良好な都市環境の形成を実現するため、「福山市空き缶等の散乱防止等及び環境美化に関する条例」（以下「環境美化条例」という。）を2021年（令和3年）12月に改正し、2022年（令和4年）4月から施行しました。

環境美化条例では、市民等（本市に通勤・通学する方や旅行者を含みます。）が市内全域において路上喫煙をしないよう努めることや、特に人通りの多い福山駅周辺部では、「路上喫煙制限区域」を指定し、路上喫煙を禁止しています。また、ポイ捨てを重点的に防止する必要がある区域を「美化推進重点区域」として指定し、これまでも市民等の皆様に対し、環境美化条例の周知活動や喫煙所の整備などの取組を進めてきました。

今後の参考とするため、次の設問にお答えください。

問1 環境美化条例が改正されたことと、その内容を知っていましたか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

- | |
|--|
| <p>() ①改正されたこと、内容ともに知っていた</p> <p>() ②改正されたことは知っていたが内容は知らなかった</p> <p>() ③改正されたこと、内容ともに知らなかった</p> |
|--|

問2 【問1で「① 改正されたこと、内容ともに知っていた」と答えた方にお聞きします。】環境美化条例の改正をどうやって知りましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- | |
|--|
| <p>() ①広報ふくやま</p> <p>() ②広報テレビ</p> <p>() ③福山市ホームページ</p> |
|--|

- ④福山市公式 LINE
- ⑤福山市環境部公式 Twitter
- ⑥周知用看板, ポスター
- ⑦市が行った周知活動・イベント
- ⑧新聞
- ⑨家族・友人・知人などから
- ⑩その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

問3 環境美化条例が施行された2022年(令和4年)4月1日以降に, 日常生活の中で, ポイ捨ての状況や喫煙マナーについて変化を感じますか。次の中から当てはまるもの 1つに「○」を記入してください。

- ①とても良くなった
- ②良くなった
- ③どちらとも言えない
- ④悪くなった
- ⑤とても悪くなった
- ⑥わからない

問4 【問3で「① とても良くなった」又は「② 良くなった」と答えた方にお聞きします。】その理由について, 次の中から当てはまるもの 1つに「○」を記入してください。

- ①路上のポイ捨てが減少した
- ②路上喫煙者が減少した
- ③その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

問5 環境美化条例が施行された2022年(令和4年)4月1日以降に, 日常生活の中で, 受動喫煙にあったことがありますか。次の中から当てはまるもの 1つに「○」を記入してください。

- ①ある
- ②ない

問6 【問5で「① ある」と答えた方にお聞きします。】受動喫煙にあったのはどのような場所ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

<input type="checkbox"/> ①飲食店
<input type="checkbox"/> ②職場
<input type="checkbox"/> ③路上
<input type="checkbox"/> ④公園
<input type="checkbox"/> ⑤その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問7 「路上喫煙制限区域」、「美化推進重点区域」の範囲は、「ウォーカブルエリア※」と同様としています。範囲の広さについてどのように思いますか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

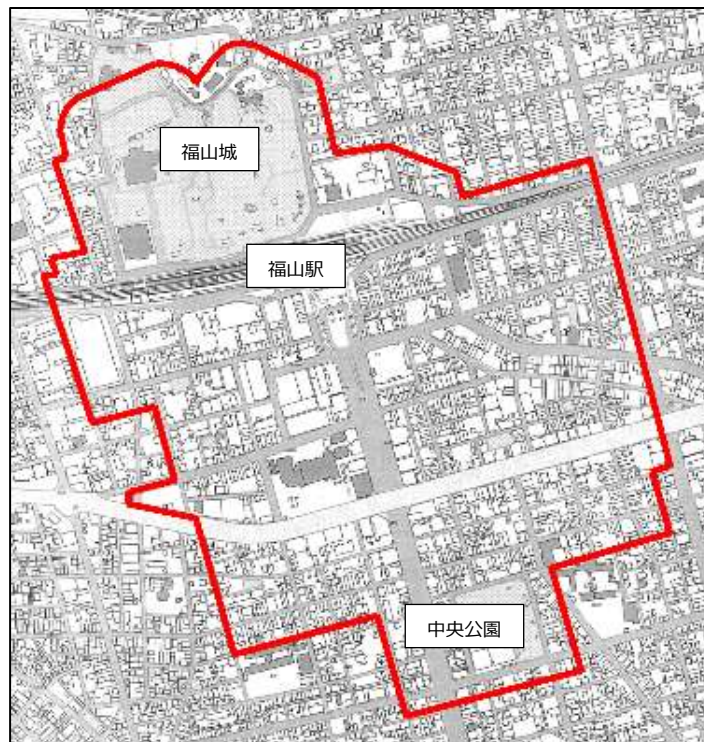
<input type="checkbox"/> ①妥当である
<input type="checkbox"/> ②広すぎる
<input type="checkbox"/> ③狭すぎる
<input type="checkbox"/> ④その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

(参考)

※「ウォーカブルエリア」とは、多様な人々が集い、交流し、滞在する「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成をめざす区域（国土交通省）で、本市では次の太線の区域である福山駅周辺の約93haとしています。



問8 路上喫煙によるたばこの吸い殻のポイ捨てや受動喫煙を防止するために、どのような支援や取組が必要だと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- ①禁煙への支援（禁煙外来，禁煙相談窓口の充実等）
- ②喫煙の害に関する啓発・喫煙防止教育
- ③喫煙者のマナーの向上の情報発信
- ④環境美化条例の周知
- ⑤喫煙所の設置
- ⑥その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

2 ボランティア活動について

本市では、福祉，まちづくり，災害など多くの場面で，ボランティアとして活動されている皆様に支えられています。

今回，ボランティアへの参加状況やボランティアに対する考え方，また，新型コロナウイルス感染症による活動の影響を把握し，今後，ボランティア活動への支援や，より多様な人材の発掘・育成につなげるための参考とさせていただくため，次の設問にお答えください。

問1 自分の本来の仕事とは別に，地域や社会のために時間や労力，技術などを提供することを，ボランティア活動といいます。あなたはボランティア活動に関心がありますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①非常に関心がある
- ②ある程度関心がある
- ③あまり関心がない
- ④全く関心がない
- ⑤わからない

問2 あなたは，ボランティア活動をしていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- ①現在活動している →問3へ
- ②過去に活動したことがある →問3へ
- ③現在も過去もない →問13へ

問3 【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】あなたの活動は、新型コロナウイルス感染症により、影響がありましたか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- () ①活動できなかった
- () ②活動のスタイルが変わった
- () ③活動範囲や活動量が減少した
- () ④従前どおり活動できた
- () ⑤活動範囲や活動量が増加した
- () ⑥影響があったかはわからない

問4 【問3で「①活動できなかった」「②活動のスタイルが変わった」「③活動範囲や活動量が減少した」と答えた方にお聞きします。】

(1)その活動は、現在どのように実施していますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- () ①新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の活動を実施している
- () ②活動のスタイルを変えて実施している
- () ③活動範囲や活動量が減少して実施している
- () ④再開できていない
- () ⑤その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

(2)コロナ禍での活動に対し、必要だと感じた支援があれば記入してください。

(自由記述欄)

問5 【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】それはどのようなボランティア活動ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- () ①まちづくりのための活動
道路や公園などの清掃，地域行事のボランティア等
- () ②スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動
スポーツ関連のボランティア，観光ガイドボランティア等
- () ③災害に関連した活動
災害地でのボランティア，募金を集める活動等
- () ④安全な生活のための活動
防災活動，パトロールなどの防犯活動，交通安全運動等

- () ⑤在住・訪日外国人のための活動
日常生活の手助けや道案内等の外国人への支援活動等
- () ⑥自然や環境を守るための活動
野鳥や動物の観察と保護，森林や緑，海や川を守る活動等
- () ⑦高齢者に対する地域での活動
訪問による手助け・洗濯・そうじ・食事の世話など，福祉電話，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導，理髪，娯楽の提供等
- () ⑧高齢者福祉施設での活動
施設での手助け・洗濯・そうじ・食事の世話など，福祉電話，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導，理髪，娯楽の提供等
- () ⑨障がい者（児）に対する地域での活動
訪問による手助けなど，点訳・手話・代筆・朗読など，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導等
- () ⑩障がい者（児）福祉施設での活動
施設での手助けなど，点訳・手話・代筆・朗読など，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導等
- () ⑪児童・青少年に対する地域での活動
青少年のグループ・子ども会などの世話，読書・学習・レクリエーションなどの指導，不良化防止活動，交通安全の指導，キラキラサポーター，ファミリーサポートセンター等
- () ⑫乳児院，児童養護施設等の児童福祉施設での活動
施設での遊び相手，読書・学習・レクリエーションなどの指導，各種行事の手伝い等
- () ⑬わからない
- () ⑭その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問6 【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】あなたは，団体などに加入して活動していますか。またはしていましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- () ①ボランティア活動を目的としている団体
- () ②ボランティア活動を主な目的としない団体
- () ③ひとり又は家族と
- () ④隣近所の人と
- () ⑤職場や学校の仲間と
- () ⑥その他の友人・知人と
- () ⑦わからない
- () ⑧その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問7 【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】あなたがボランティア活動を始めたきっかけは何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- () ①社会のために何か役立ちたかったから
- () ②福祉問題が身近に起きているから
- () ③自分の技術, 能力, 経験を生かしたかったから
- () ④余暇を有意義に過ごしたかったから
- () ⑤人からすすめられたから
- () ⑥誰も活動する人がいなかったから
- () ⑦立場上やむをえず
- () ⑧特に理由はない
- () ⑨わからない
- () ⑩その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問8 【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】あなた自身にとってボランティア活動をしてよかったと思ったことは何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- () ①友人を得ることができた
- () ②生活に充実感ができた
- () ③人間性が豊かになった
- () ④知識や技能が身についた
- () ⑤おもいやりの気持が深まった
- () ⑥世間への見方が広まった
- () ⑦社会福祉に対する理解が深まった
- () ⑧健康になった
- () ⑨周囲の人との共通の話題ができた
- () ⑩特にない・わからない
- () ⑪その他 (具体的に以下の自由記述欄にご記入ください)

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問9 【問2で「①現在活動している」「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】 ボランティア活動に対する報酬について、あなたのお考えにいちばん近いのはどれですか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- () ①ボランティアだから謝礼や報酬などは受けるべきではない
- () ②いくらボランティアとはいえ、交通費などの実費ぐらいは受けてもよい
- () ③実費を受けるのは当然で、謝礼の意味で日当ぐらいの報酬は受けてもよい
- () ④わからない
- () ⑤その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

問10 【問2で「①現在活動している」と答えた方にお聞きします。】 それらの活動をどれくらいしていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。(定期的な活動、不定期の活動に関係なく、また1日にいくつかの活動をしている場合も活動時間に関係なく1日として数えてください。)

- () ①ほとんど毎日
- () ②週に2～3日くらい
- () ③週に1日くらい
- () ④月に2～3日くらい
- () ⑤月に1日くらい
- () ⑥その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

問11 【問2で「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】 あなたがボランティア活動をやめた理由は何ですか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- () ①周囲の理解が得られなくなったから
- () ②仕事などの時間と活動の時間との調整がつかなくなったから
- () ③活動経費がかかりすぎたから
- () ④活動に付随する責任が重く、精神的負担に耐えられなくなったから
- () ⑤活動を続けている中で人間関係が悪くなったから
- () ⑥健康を害したから
- () ⑦年をとったから
- () ⑧特に理由はない
- () ⑨わからない

() ⑩その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問 12 【問 2 で「②過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします。】今後、機会があればまたボランティア活動をしてみたいと思いますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- () ①してみたいと思う
() ②してみたいとは思わない
() ③わからない

問 13 【問 2 で「③現在も過去もない」と答えた方にお聞きします。】今までにボランティア活動をしたことがない理由は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- () ①身近に適切な指導者（リーダー）がないから
() ②忙しくて時間がないから
() ③同好の仲間がないから
() ④周囲の理解が得られないから
() ⑤活動に要する技術を身につける機会がないから
() ⑥情報を得られないから
() ⑦活動すべき場が見つからないから
() ⑧自分の生活にゆとりがないから（生活にゆとりのある人がやればよい）
() ⑨ボランティア活動は好きではないから
() ⑩特に理由はない
() ⑪その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

問 14 【問 2 で「③現在も過去もない」と答えた方にお聞きします。】今後、機会があればボランティア活動してみようと思いますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- () ①してみたいと思う
() ②してみたいとは思わない
() ③わからない

問 15 【問 14 で「①してみたいと思う」と答えた方にお聞きします。】それはどのようなボランティア活動ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

()	①まちづくりのための活動 道路や公園などの清掃，地域行事のボランティア等
()	②スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動 スポーツ関連のボランティア，観光ガイドボランティア等
()	③災害に関連した活動 災害地でのボランティア，募金を集める活動等
()	④安全な生活のための活動 防災活動，パトロールなどの防犯活動，交通安全運動等
()	⑤在住・訪日外国人のための活動 日常生活の手助けや道案内等の外国人への支援活動等
()	⑥自然や環境を守るための活動 野鳥や動物の観察と保護，森林や緑，海や川を守る活動等
()	⑦高齢者に対する地域での活動 訪問による手助け・洗濯・そうじ・食事の世話など，福祉電話，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導，理髪，娯楽の提供等
()	⑧高齢者福祉施設での活動 施設での手助け・洗濯・そうじ・食事の世話など，福祉電話，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導，理髪，娯楽の提供等
()	⑨障がい者（児）に対する地域での活動 訪問による手助けなど，点訳・手話・代筆・朗読など，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導等
()	⑩障がい者（児）福祉施設での活動 施設での手助けなど，点訳・手話・代筆・朗読など，話し相手，相談相手，散歩相手，通院の付き添い，外出・買物の手伝い，趣味・レクリエーションなどの指導等
()	⑪児童・青少年に対する地域での活動 青少年のグループ・子ども会などの世話，読書・学習・レクリエーションなどの指導，不良化防止活動，交通安全の指導，キラキラサポーター，ファミリーサポートセンター等
()	⑫乳児院，児童養護施設等の児童福祉施設での活動 施設での遊び相手，読書・学習・レクリエーションなどの指導，各種行事の手伝い等
()	⑬わからない
()	⑭その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問 16 【全員にお聞きします。】ボランティア活動を広めていく上で、行政と住民とのかわりについてあなたはどのようなお考えをお持ちですか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

- () ①行政がボランティアを直接育成し、行政が行う事業に活用していくべきだ
- () ②行政はボランティア活動のための条件整備を行うにとどめるべきだ
- () ③ボランティア活動はそもそも住民の自主的な活動であるので、行政は介入すべきでない
- () ④わからない
- () ⑤その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問 17 【全員にお聞きします。】国や県、市区町村などの行政機関がボランティア活動を支援するとしたらどのようなことをしたらよいと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- () ①活動のための広報、情報の収集・提供
- () ②技術や知識などの研修会、講習会の開催
- () ③活動中の事故に対する保険制度の整備・援助
- () ④ボランティアの集会や器材保管の場としてのボランティアセンターの整備
- () ⑤活動に必要な資材などの提供
- () ⑥活動資金などの経済的援助
- () ⑦福祉に関する教育に力を入れる
- () ⑧活動者と受け入れる者との需給のバランスを調整する者（コーディネーター）を養成する
- () ⑨わからない
- () ⑩その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

3 備後圏域連携中枢都市圏構想について

広島県三原市・尾道市・福山市・府中市・世羅町・神石高原町と岡山県笠岡市・井原市の6市2町は、本市を連携中枢都市として、備後圏域連携中枢都市圏を構成しています。備後圏域は、通勤・通学などの日常生活圏が重なることや歴史的な背景による結び付きの強さがあります。また、瀬戸内海地域における中核的な工業拠点として発展してきたことから経済活動でもつながりが強い圏域です。

備後圏域では、人口減少・少子高齢社会にあっても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持することを目的に、経済・都市機能・住民サービスの分野で連携した取組を進めていますが、備後圏域の更なる連携強化についての参考とするため、次の質問にお答えください。

問1 広島県・岡山県内の6市2町で、「備後圏域連携中枢都市圏」を形成し、様々な連携事業を実施していることを知っていますか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。

- | |
|---|
| <p>() ①具体的な連携事業についても知っている</p> <p>() ②連携していることは知っているが、具体的な連携事業については知らない</p> <p>() ③「備後圏域」や「連携中枢都市圏」といった名前だけは聞いたことがある</p> <p>() ④知らない</p> |
|---|

問2 日常的な行動範囲について、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- | |
|--|
| <p>() ①福山市以外の備後圏域の市町に通勤・通学している</p> <p>() ②休日は福山市以外の備後圏域の市町に出かけることがよくある</p> <p>() ③福山市以外の備後圏域の市町の事業者とも仕事上の取引が多い</p> <p>() ④日常的な行動は福山市内で完結している</p> |
|--|

問3 日常的な消費行動について、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

- | |
|---|
| <p>() ①福山産のものを意識して購入している</p> <p>() ②備後圏域産のものがあれば意識して購入している</p> <p>() ③広島県産のものがあれば意識して購入している</p> <p>() ④国産のものがあれば意識して購入している</p> <p>() ⑤特に産地は意識していない</p> <p>() ⑥その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）</p> |
|---|

(自由記述欄)

<hr/> <hr/>

問4 現在、本市が備後圏域の市町と連携して行っている事業を知っていますか。次の中から当てはまる事業全てについて「事業を知っている」又は「備後で取り組んでいることも知っている」のいずれかに「○」を記入してください。

事業	回答欄	
	事業を知っている	備後で取り組んでいることも知っている
①中小企業や起業をめざす方、事業承継を検討している方に売上向上等の伴走支援を行う「福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz」の運営		
②「びんごデジタルラボ」や「びんごICT相談所」による中小企業等のデジタル化支援		
③AIやIoTなどの注目技術の学び直しができる「ものづくり大学等の講座」の開催		
④実証実験の誘致などによるドローンの利活用促進		
⑤合同企業説明会の開催などによる中小企業の雇用対策の支援		
⑥デニムの産地としての備後圏域の認知度向上や事業者の販路拡大支援		
⑦備後圏域のワインの認知度向上や販路拡大		
⑧備後フィッシュのブランド化		
⑨6次産業化の推進		
⑩圏域内の周遊観光促進		
⑪インバウンド向けの観光コンテンツの創出		
⑫サイクリングロードの整備や情報発信		
⑬夜間成人診療所の運営		
⑭小児救急医療の提供		
⑮圏域内病院の連携事業（診療支援や研修の開催など）		
⑯医師確保の推進		
⑰備後圏域における地域包括ケアの充実（認知症等に関する講演会の開催や資源マップの運用など）		
⑱発達に課題がある就学前児童及び受診歴がある小学生とその保護者を支援するこども発達支援センターの共同運営		
⑲地域防災を担う防災士を養成する福山防災大学の共同運営		
⑳備蓄物資の確保などによる災害時の対応体制の強化		
㉑福山未来エネルギーを活用した再生可能エネルギーの地産地消		
㉒次期ごみ処理施設における燃やせるごみの広域処理		

(施設建設中)		
㉓性的マイノリティのための電話相談窓口の運営や啓発活動の実施		
㉔圏域内住民への図書館資料の貸出（電子図書貸出サービスを含む）		
㉕備後圏域に関する情報発信サイト（びんごライフ）の運営		
㉖圏域内市町での高度専門人材の活用推進		
㉗全て知らない		
㉘その他（備後で取り組んでいることを知っている事業について、具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）		

(自由記述欄)

<hr/>

問5 人口減少が進む中で、今後は、より効率的に行政サービスを提供する必要があります。そのため、備後圏域の市町が連携して事業に取り組むことは、更に重要となります。

福山市と備後圏域の市町との連携は、特にどの分野において効果的だと感じますか。次の中から当てはまるもの上位5つに「○」を記入してください。

<input type="checkbox"/> ①圏域内での消費や取引を推進することによる地域経済循環の促進 <input type="checkbox"/> ②産業支援拠点機能の充実（企業の経営や技術力，人材育成などを充実） <input type="checkbox"/> ③地域産業の競争力向上（ものづくり技術や販路開拓等を支援） <input type="checkbox"/> ④中小企業事業者のイノベーション等の推進 <input type="checkbox"/> ⑤創業支援 <input type="checkbox"/> ⑥雇用対策（中小企業の人材確保の取組を支援） <input type="checkbox"/> ⑦6次産業化の推進 <input type="checkbox"/> ⑧第一次産業振興のための環境整備（担い手確保，地域ブランド化の推進） <input type="checkbox"/> ⑨戦略的な観光振興（圏域の観光資源を結び付けた観光客の呼び込み） <input type="checkbox"/> ⑩地域医療の充実 <input type="checkbox"/> ⑪高齢者や障がい者等の福祉の充実 <input type="checkbox"/> ⑫健康づくりの推進 <input type="checkbox"/> ⑬子育て支援の充実 <input type="checkbox"/> ⑭災害に対する安心・安全の確保 <input type="checkbox"/> ⑮環境に配慮した循環型社会の構築 <input type="checkbox"/> ⑯行政サービスの向上（行政手続きのデジタル化の推進） <input type="checkbox"/> ⑰定住人口や関係人口等の増加に向けた取組の推進 <input type="checkbox"/> ⑱農林水産物を活用した地域活性化 <input type="checkbox"/> ⑲公共交通体系やデマンド交通の検討 <input type="checkbox"/> ⑳大学を活用した地域活性化
--

() ㉑特に連携の必要性は感じない

() ㉒その他（具体的に以下の自由記述欄にご記入ください）

（自由記述欄）

<hr/> <hr/>

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

【問合せ先】

福山市市民局まちづくり推進部 まちづくり推進課

☎084 (928) 1217

8:30～17:15(土日祝日を除く)